

県民の幸福感に関する分析部会 配付資料一覧

- 資料 No. 1 県民の幸福感に関する分析部会運営要領等
- 資料 No. 2 県民の幸福感に関する分析部会について
- 資料 No. 3-1 平成 31 年県の施策に関する県民意識調査結果（速報）
- 資料 No. 3-2 県の施策に関する県民意識調査結果の時系列変化（H28～H31）
- 資料 No. 4-1 「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」の実施について
- 資料 No. 4-2 「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」調査対象者について
- 資料 No. 4-3 「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」調査設計について

県民の幸福感に関する分析部会運営要領

(設置)

第1条 岩手県総合計画審議会条例（昭和54年岩手県条例第29号）第7条の規定に基づき、岩手県総合計画審議会に県民の幸福感に関する分析部会（以下「部会」という。）を置く。

(所掌)

第2条 部会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 「県の施策に関する県民意識調査」等で把握した、県民の幸福に対する実感の分析に関すること。
- (2) その他いわて県民計画の推進に当たって必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 部会は、岩手県総合計画審議会委員及び外部委員をもって組織する。

2 外部委員は、当該部会の所掌事項に関して十分な知識又は経験を有する者のうちから、知事が任命する。

(部会長及び副部会長)

第4条 部会に、部会長及び副部会長を各1名置く。

- 2 部会長は、委員の互選によって定める。
- 3 副部会長は、委員のうちから部会長が指名する。
- 4 部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 5 副部会長は部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(オブザーバー)

第5条 部会にオブザーバーを置くことができる。

- 2 オブザーバーは、知事が任命する。
- 3 オブザーバーは、必要に応じて会議に出席し、意見を述べることができる。

(会議)

第6条 部会は、知事が招集する。

- 2 部会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 部会は、必要に応じて専門的知識を有する者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 部会の庶務は、政策地域部政策推進室において処理する。

(補則)

第9条 この要領に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が定める。

附 則

この要領は、令和元年6月6日から施行する。

岩手県総合計画審議会条例

昭和54年10月23日 条例第29号

(設置)

第1条 県政の総合的な計画の策定及び推進に関する重要事項を調査審議させるため、知事の諮問機関として岩手県総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(組織)

第2条 審議会は、委員20人以内をもって組織し、委員は、次に掲げる者のうちから知事が任命する。

- (1) 市町村長
- (2) 学識経験者

2 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第3条 審議会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選とする。

- 2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第4条 審議会は、知事が招集する。

- 2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第5条 審議会は、必要に応じて学識経験のある者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、政策地域部において処理する。

(補則)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

県民の幸福感に関する分析部会について

1 部会の役割

県民の幸福に着目して策定した「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進していくため、県民の主観的な幸福感の変動要因を把握し政策立案に反映していく必要があることから、県民意識調査等で把握した県民の主観的な幸福感を専門的かつ県民目線で分析するとともに、定期的に総合計画審議会に審議状況を報告する。

2 部会委員等部会の構成

別紙1の名簿のとおり

3 審議内容案

(1) 令和元年度

以下の分析結果等を取りまとめた年次レポートを作成・公表し、総合計画審議会に報告する。

① パネル調査の設計

県民の意識の変化を把握するため、県民意識調査とは別に新たに実施するパネル調査の調査対象者（地域、属性の構成）や調査票の検討。

② 基礎的分析：県民意識調査の時系列分析

令和2年度以降の審議に反映させるため、過年度に実施した県民意識調査の結果の分析（属性別領域別実感の推移）。

(2) 令和2年度以降

令和2・3年度は以下の分析結果等を取りまとめた年次レポート、令和4年度は政策推進プラン期間中の分析結果等を作成・公表し、総合計画審議会に報告する。

① 領域別実感の変動要因の分析

県民意識調査や、別途実施するパネル調査結果を踏まえた、県民意識の変動要因の分析（結果の解釈等）。

② 領域別実感と「いわて幸福関連指標」との関連性の分析

領域別実感といわて幸福関連指標の推移の比較と乖離の検証。

4 今年度の審議日程及び主な審議内容

別紙2のとおり

県民の幸福感に関する分析部会委員等

【委員】

氏名	現所属
谷藤 邦基 (総合計画審議会委員)	株式会社イーアールアイ 取締役
吉野 英岐 (総合計画審議会委員)	岩手県立大学総合政策学部 教授
竹村 祥子	岩手大学人文社会科学部 教授
ティー・キャン・ヘーン	岩手県立大学総合政策学部 教授
山田 佳奈	岩手県立大学総合政策学部 准教授
若菜 千穂	いわて地域づくり支援センター 常務理事

【オブザーバー】

氏名	現所属
広井 良典	京都大学こころの未来研究センター 副センター長

※敬称略

部会開催スケジュール案

月日	審議内容等
6月6日(木)	第89回総合計画審議会での部会設置
7月3日(水)	第1回部会開催 (1) 部会設置目的、所掌、日程等 (2) 正副部会長互選 (3) 平成31年県民意識調査の結果 (4) パネル調査の概要(調査趣旨、検討課題の説明)
9月4日(水)	第2回部会開催 (1) 過年度実施分の県民意識調査の分析(属性別時系列分析等) (2) パネル調査の設計 ① 調査対象者の選定の検討 ② 調査項目の検討(分析方法を想定しながら)
10月1日(火)	第90回総合計画審議会(部会は開催しない)
10月	第3回部会開催 (1) パネル調査の設計 ① 調査対象者の選定の決定 ② 調査票の決定 (2) 総合計画審議会への報告内容(骨子)
11月18日(月)	第91回総合計画審議会(部会は開催しない)
1月下旬～2月上旬	第4回部会開催 (1) 総合計画審議会への報告内容 (2) 活動の振り返り(分析結果の反映状況) (3) 翌年度計画等
2月10日(月)	第92回総合計画審議会での審議状況を報告 ・ 県民意識調査の分析結果、パネル調査の概要

平成31年県の施策に関する県民意識調査結果(速報)

1 調査の目的

「いわて県民計画」に基づいて実施する県の施策について、県民がどの程度の重要性を感じ、現在の状況にどの程度満足しているかを把握し、今後、県が重点的に取り組むべき施策の方向性等を明らかにすることを目的とする。

2 調査の概要

- ① 調査対象 県内に居住する18歳以上の男女
- ② 調査対象者数 5,000人
- ③ 抽出方法 選挙人名簿からの層化二段無作為抽出
- ④ 調査方法 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- ⑤ 調査時期 平成31年1～2月
- ⑥ 調査項目
 - ア 生活全般の満足度
 - イ 「いわて県民計画」の7つの政策等に関連する50項目に係る重要度、満足度について
 - ウ 県民の普段の行動について
 - エ 幸福度について
- ⑦ 有効回収率 66.5% (3,327人/5,000人)
- ⑧ 回答者の属性

【男女別】	回答者数	割合
男性	1,611	(48.4)
女性	1,693	(50.9)
不明	23	(0.7)

【居住地別】	回答者数	割合
県央広域振興圏	938	(28.2)
県南広域振興圏	1,014	(30.5)
沿岸広域振興圏	800	(24.0)
県北広域振興圏	575	(17.3)

【年齢別】	回答者数	割合
18～19歳	38	(1.1)
20～29歳	166	(5.0)
30～39歳	293	(8.8)
40～49歳	429	(12.9)
50～59歳	553	(16.6)
60～69歳	752	(22.6)
70歳以上	986	(29.6)
不明	110	(3.3)

【職業別】	回答者数	割合
自営業主	309	(9.3)
家族従業者	95	(2.9)
会社役員・団体役員	207	(6.2)
常用雇用者	885	(26.6)
臨時雇用者	390	(11.7)
学生	48	(1.4)
専業主婦(主夫)	340	(10.2)
無職	780	(23.4)
その他	123	(3.7)
不明	150	(4.5)

()内は%

(注) 小数点第1位未満四捨五入の関係から、内訳の計が100%にならない場合があります。

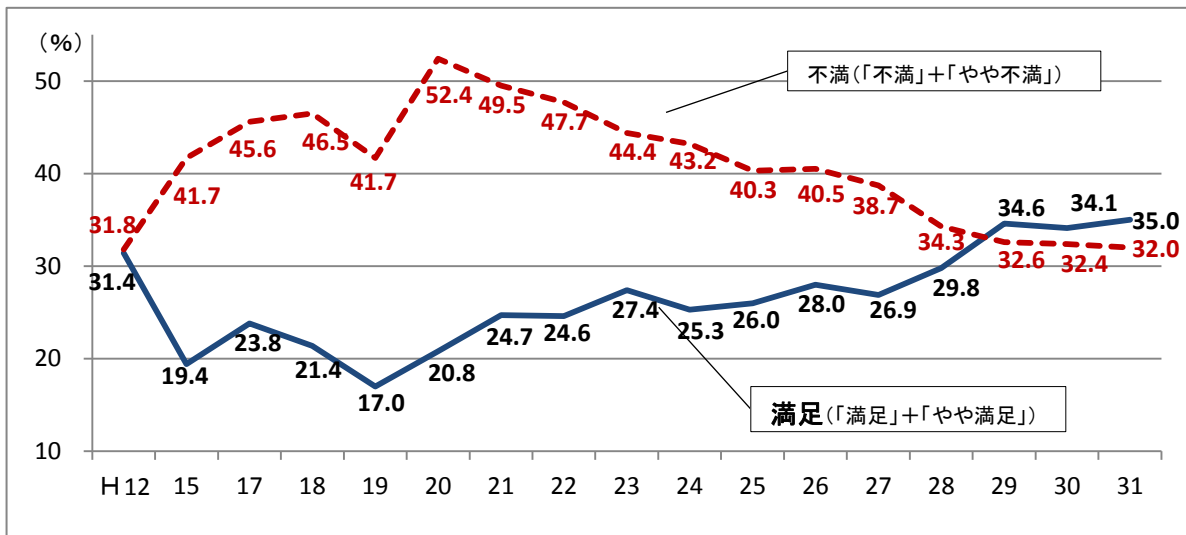
■ 調査結果の概要 ■

問1 あなたは、今の生活全般について、どのように感じていますか。

満足の割合が過去最高、不満は低下傾向

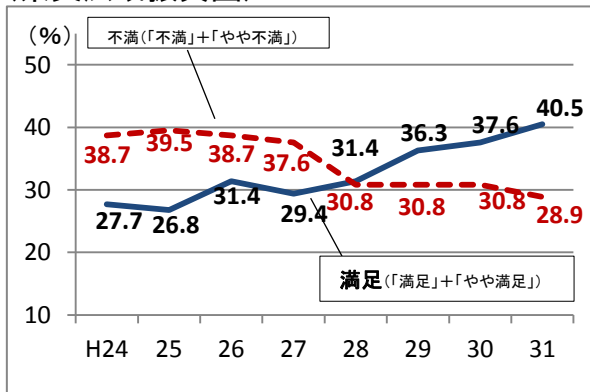
- 県計では、満足(「満足」+「やや満足」)の割合が35.0%となっており、不満(「不満」+「やや不満」)の割合32.0%を3.0ポイント上回っている。
- また、平成30年調査と比較すると、満足の割合は34.1%から0.9ポイント上昇し、不満の割合は32.4%から0.4ポイント低下している。
- 広域振興圏別にみると、県央と沿岸では満足が上昇している。県北でも満足が上昇しているものの、不満が上回っている。一方、県南では満足が低下し不満が上昇している。

(県計)

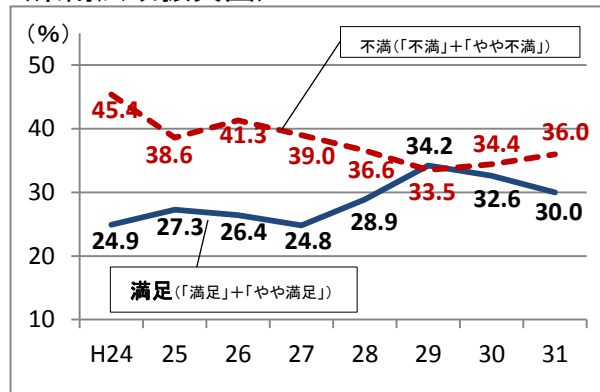


注) 平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

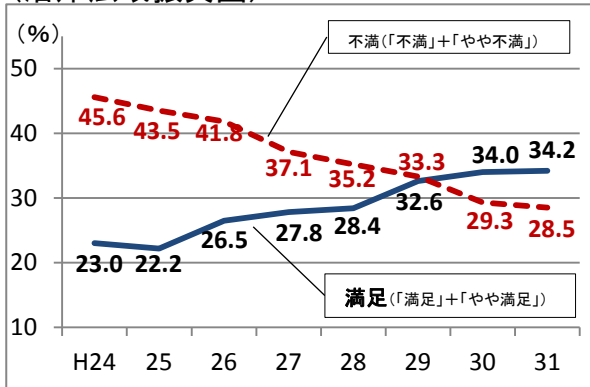
(県央広域振興圏)



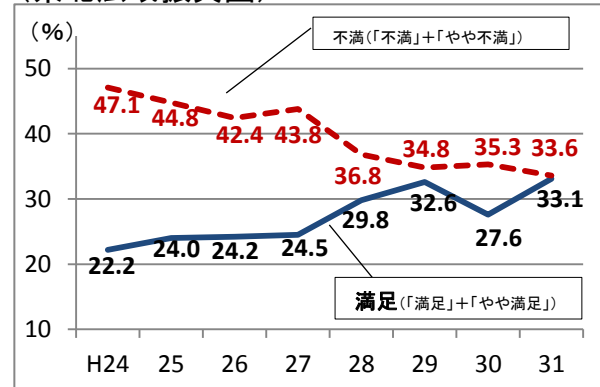
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



問2 あなたの暮らしにとって、調査項目のような状態を実現することが、どれくらい重要と考えますか。

あなたの現在の暮らしからみて、調査項目の状態についてどれくらい満足していますか。

【重要度】

- 重要度の高い項目は、「適切な医療体制」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「交通事故の少ない社会づくり」となっている。
- 一方、「海外での県産品の販路拡大」、「外国人も暮らしやすい地域社会」、「市民活動へ参加しやすい社会」などの項目が重要度が低くなっている。

重要度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	③	14	適切な医療体制
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	3	④	20	交通事故の少ない社会づくり
4	6	③	16	安心な子育て環境整備
5	4	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり

重要度が低い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	①	7	海外での県産品の販路拡大
45	45	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
44	42	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
43	44	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
42	43	②	12	活力ある農山漁村の形成

※項目は設問文を要約して記載。いわて県民計画(2019～2028)での追加項目(4項目)は順位付けから除外。(以下、同様)

【満足度】

- 満足度の高い項目は、「県出身スポーツ選手の活躍」、「ごみ減量やリサイクルの定着」、「購入する食品の安全性に不安を感じない社会」となっている。
- 一方、「農林水産業の担い手確保」、「商店街のにぎわい」、「安定した就職環境」などの項目が満足度が低くなっている。

満足度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	2	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
2	1	⑥	39	ごみ減量やリサイクルの定着
3	4	④	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会
4	3	④	19	犯罪への不安の少ない社会づくり
5	6	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動

満足度が低い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	45	②	9	農林水産業の担い手確保
45	46	①	5	商店街のにぎわい
44	44	①	8	安定した就職環境
43	43	①	2	次世代を担う産業人材育成
42	42	①	6	中小企業の経営力の向上

【ニーズ度】

- ニーズ度の高い項目は、「安定した就職環境」、「高齢者や障がい者に安心な地域づくり」、「安心な子育て環境整備」となっている。
- 一方、「県出身スポーツ選手の活躍」、「地域や学校での文化芸術活動」、「市民活動へ参加しやすい社会」などの項目がニーズ度が低くなっている。

ニーズ度が高い項目

順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
1	1	①	8	安定した就職環境
2	2	③	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり
3	4	③	16	安心な子育て環境整備
4	3	②	9	農林水産業の担い手確保
5	6	③	14	適切な医療体制

ニーズ度が低い項目

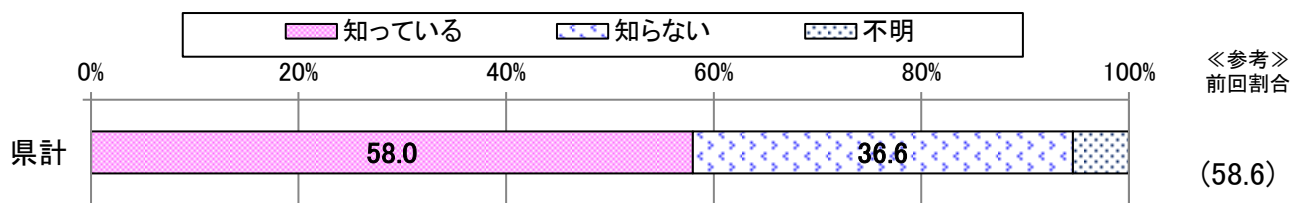
順位	(参考) 30年 順位	7つの 政策	番号	項 目
46	46	⑤	37	県出身スポーツ選手の活躍
45	45	⑤	35	地域や学校での文化芸術活動
44	44	④	24	市民活動へ参加しやすい社会
43	43	⑤	36	外国人も暮らしやすい地域社会
42	41	⑤	34	郷土愛の向上に向けた取組

7つの政策

- ①:産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～
- ②:農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～
- ③:医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～
- ④:安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～
- ⑤:教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～
- ⑥:環境～「環境王国いわて」の実現～
- ⑦:社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～

問3-1 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っていますか。

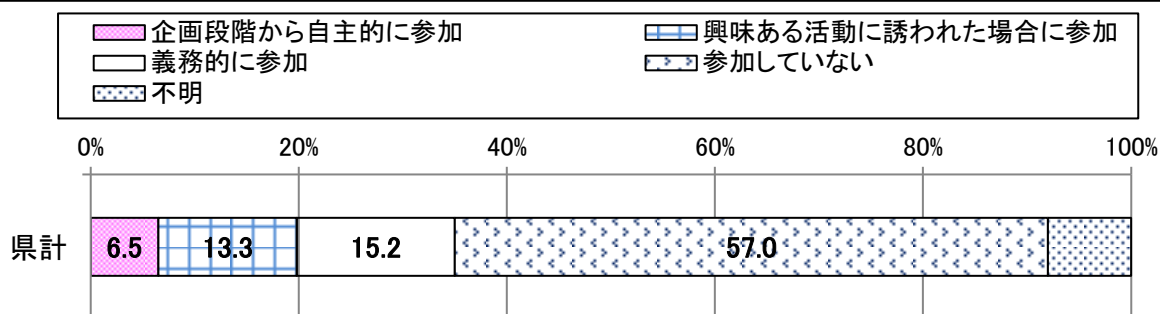
○ 大きな病院と診療所(開業医)の役割分担について知っている人の割合は58.0%となっている。



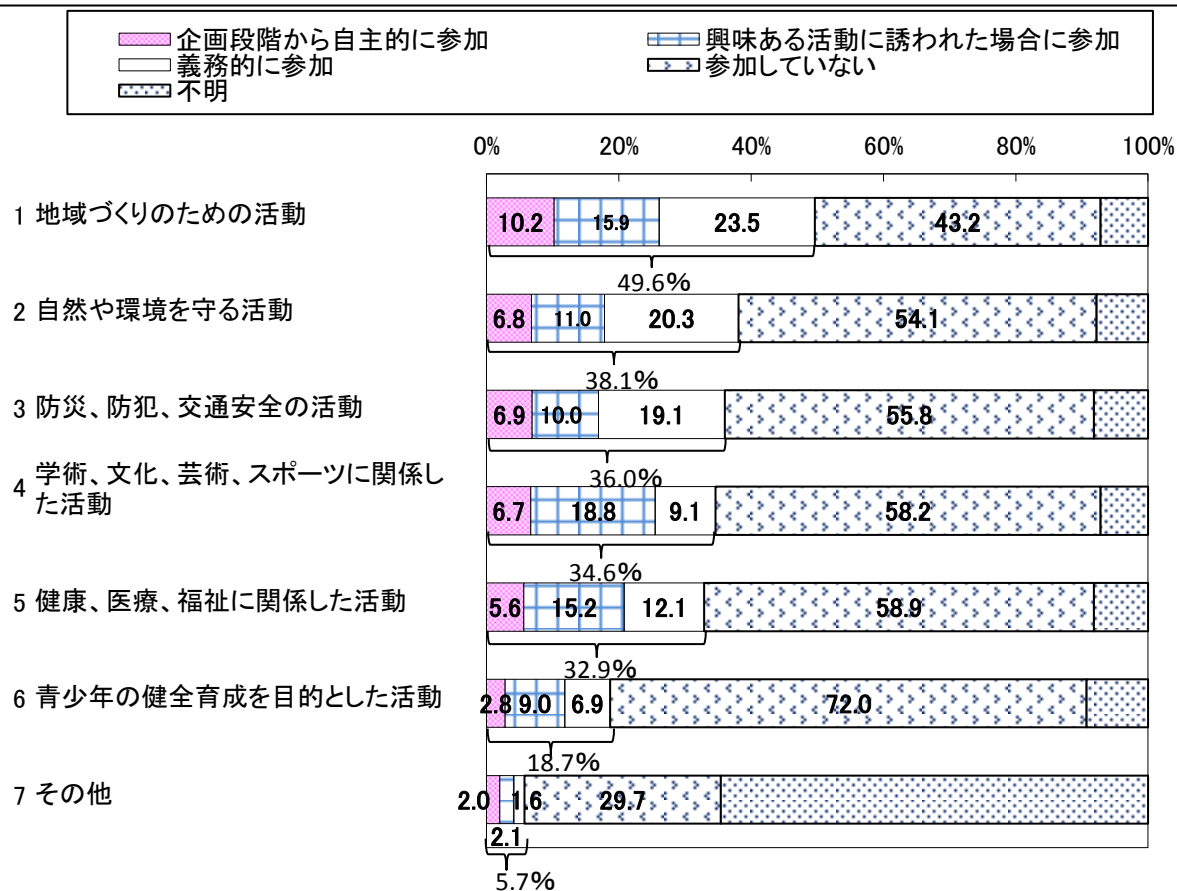
問3-2 過去1年間にどのようなボランティア活動等に参加しましたか。

【65歳以上からの回答】

○ ボランティア活動等に参加している高齢者の割合は、「企画段階から自主的に参加」が6.5%、「興味ある活動に誘われた場合に参加」が13.3%、「義務的に参加」が15.2%となっている。



○ ボランティア活動等は、「地域づくりのための活動」が49.6%と最も高く、次いで「自然や環境を守る活動」が38.1%、「防災、防犯、交通安全の活動」が36.0%となっている。
(「企画段階から自主的に参加」、「興味ある活動に誘われた場合に参加」、「義務的に参加」の計。)



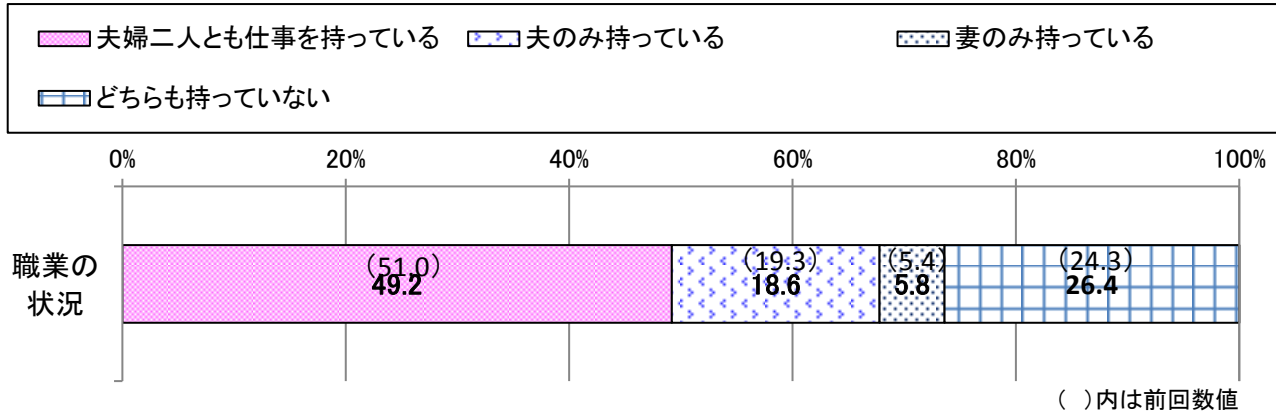
※ 今回新設の設問であるため、前回比較は無し。

問3-3 生活時間について

【(1)、(2)は夫婦世帯の方のみ回答】

(1) お二人とも職業をお持ちですか。

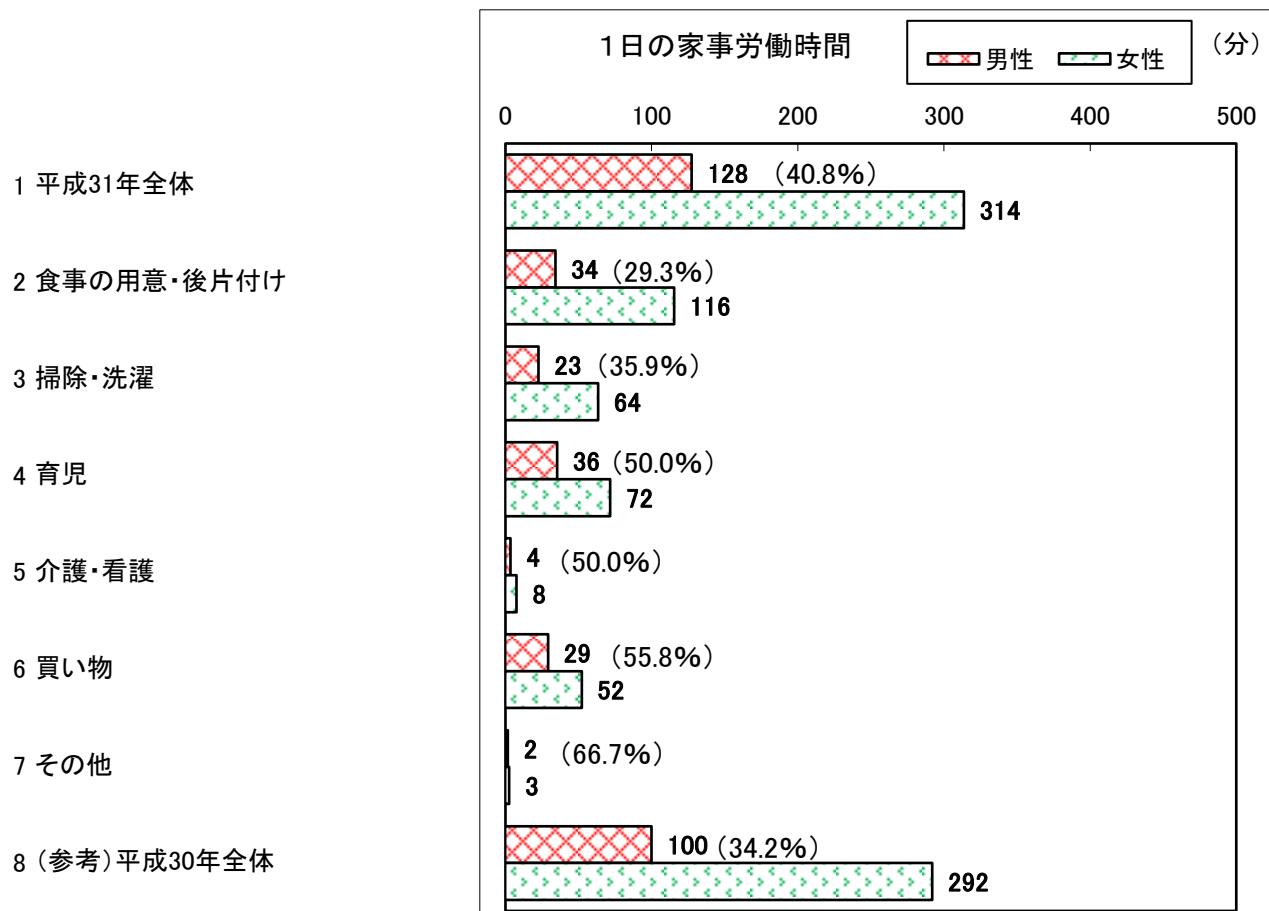
○ 夫婦二人とも仕事を持っている世帯の割合は49.2%となっている。



(2) あなたとあなたの夫(妻)は、普段、どれぐらい家事を行っていますか。

【夫婦二人とも仕事を持っている世帯】

○ 共働き世帯の「夫」の家事労働時間は128分、「妻」の家事労働時間は314分となっており、「夫」の家事労働時間は「妻」の40.8%となっている。



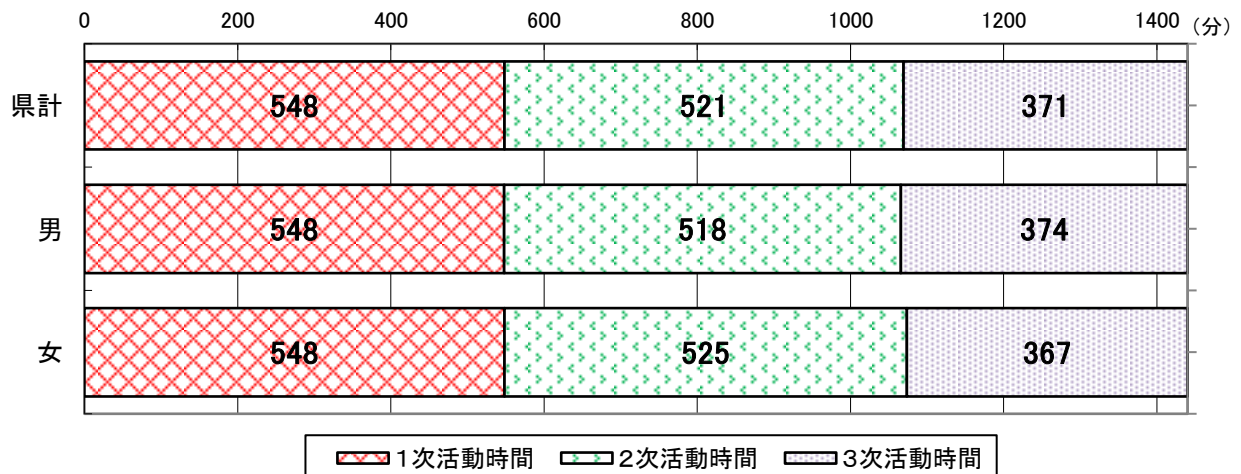
※ ()は、男性の家事時間割合(女性の家事時間に対する割合)。

(3) あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

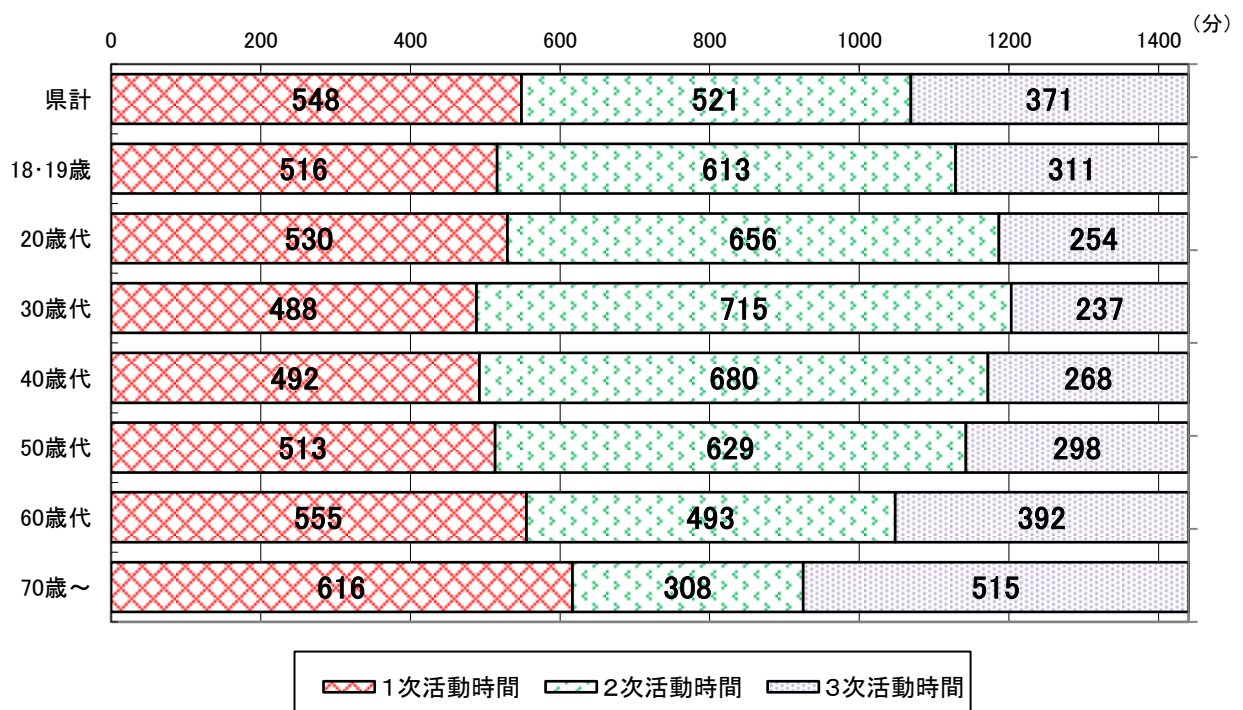
○ 1日当たりの行動の内容は、1次活動時間が548分(9時間8分)、2次活動時間が521分(8時間41分)、3次活動時間が371分(6時間11分)となっている。

- 1次活動: 睡眠、食事など生理的に必要な活動
- 2次活動: 仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動
- 3次活動: 1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

ア 男女別



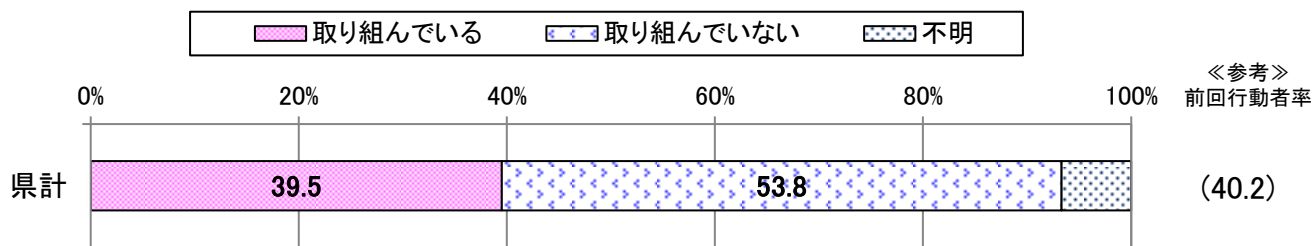
イ 年代別



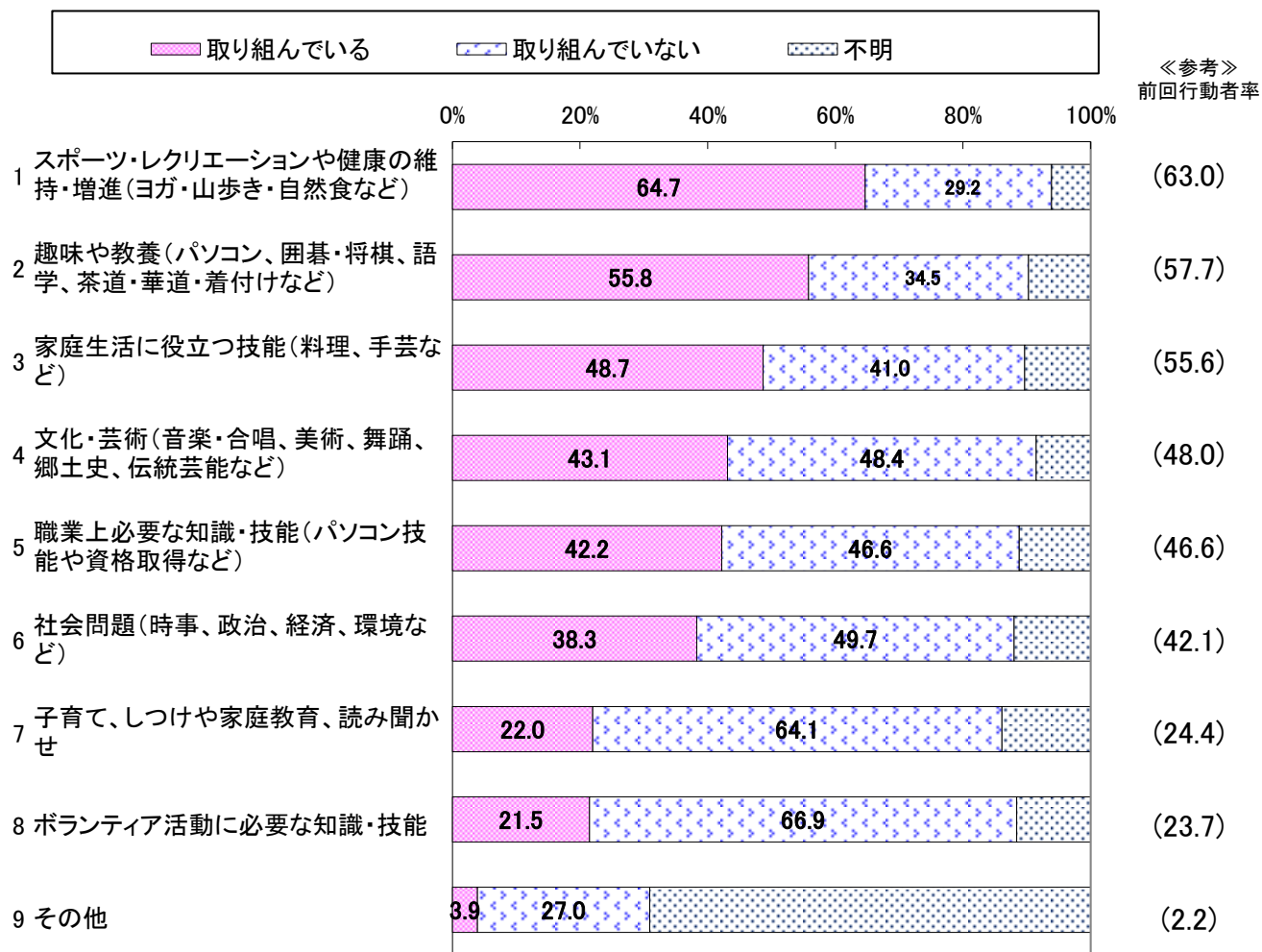
※ 今回新設の設問であるため、前回比較は無し。

問3-4 生涯学習に取り組んでいますか。

○ 生涯学習に取り組んでいる人の割合は、各調査項目の平均で39.5%となっている。

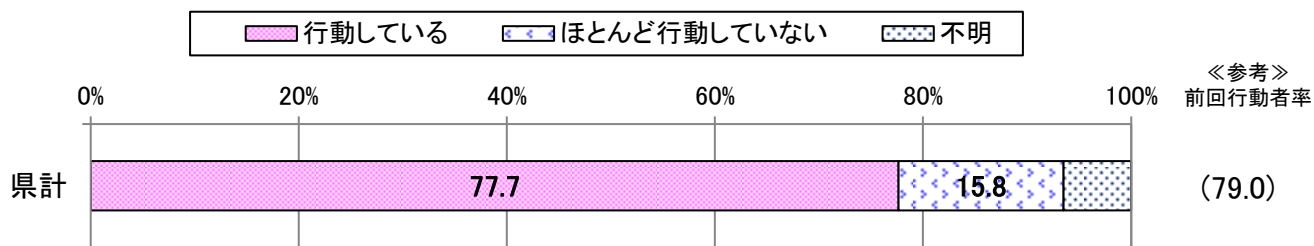


○ 行動の内容は、「スポーツ・レクリエーションや健康の維持・増進(ヨガ・山歩き・自然食など)」が64.7%と最も多く、次いで「趣味や教養(パソコン、囲碁・将棋、語学、茶道・華道・着付けなど)」が55.8%、「家庭生活に役立つ技能(料理、手芸など)」が48.7%となっている。

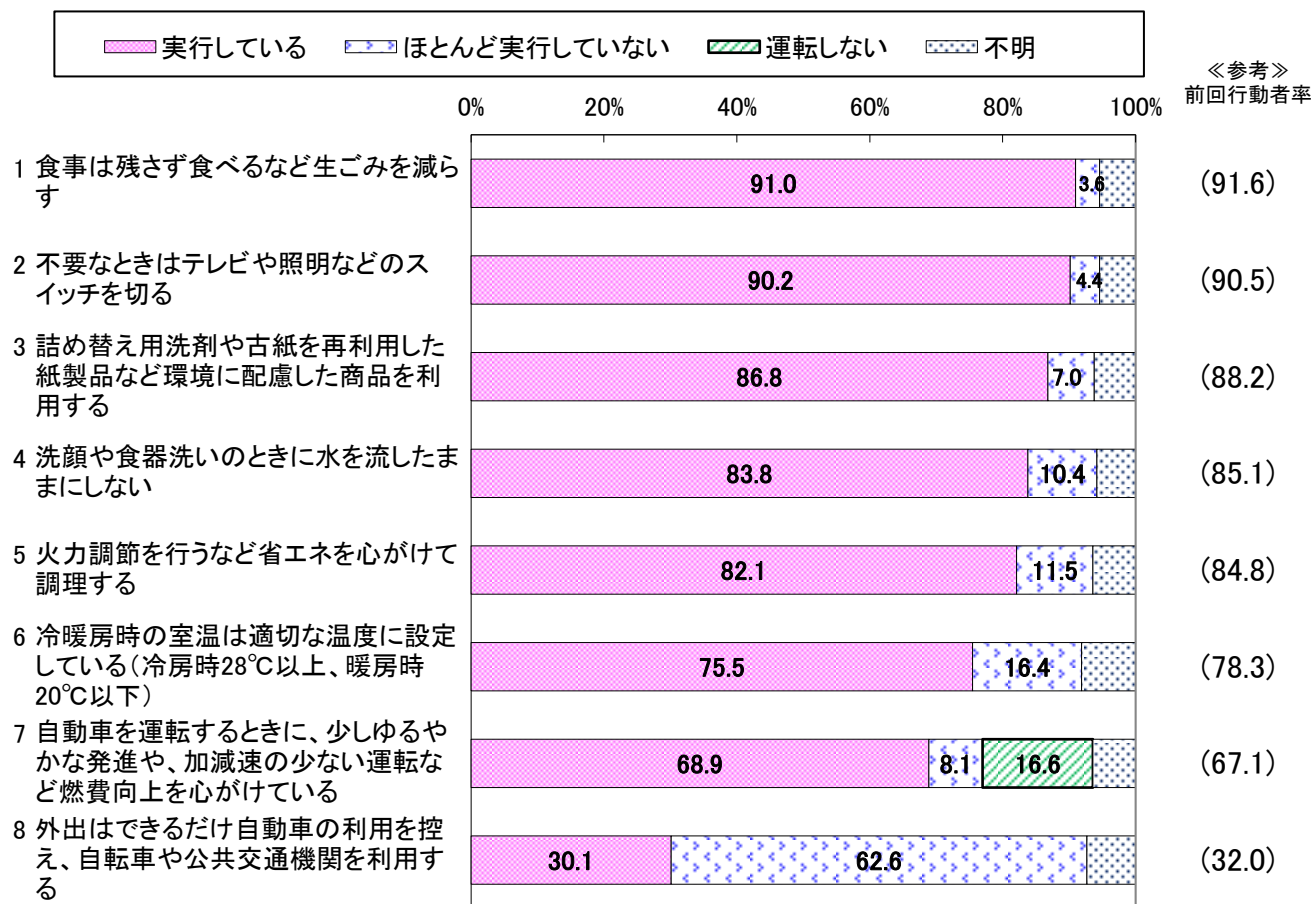


問3-5 地球温暖化防止のため、普段どのような行動に努めていますか。

○ 地球温暖化防止のための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で77.7%となっている。

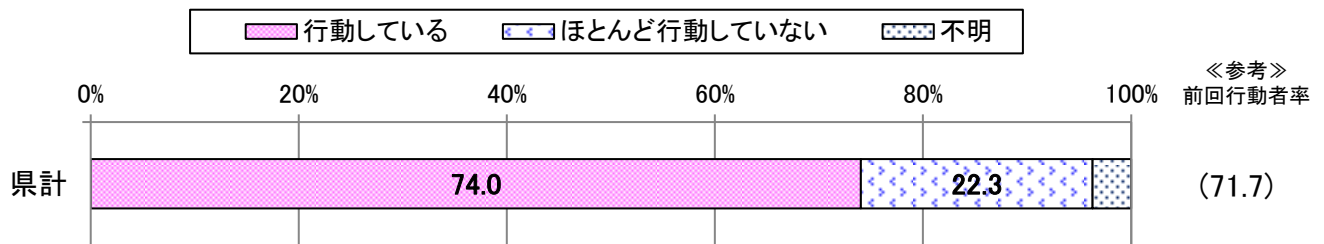


○ 行動の内容は、「食事は残さず食べるなど生ごみを減らす」が91.0%と最も多く、次いで「不要なときはテレビや照明などのスイッチを切る」が90.2%、「詰め替え用洗剤や古紙を再利用した紙製品など環境に配慮した商品を利用する」が86.8%となっている。

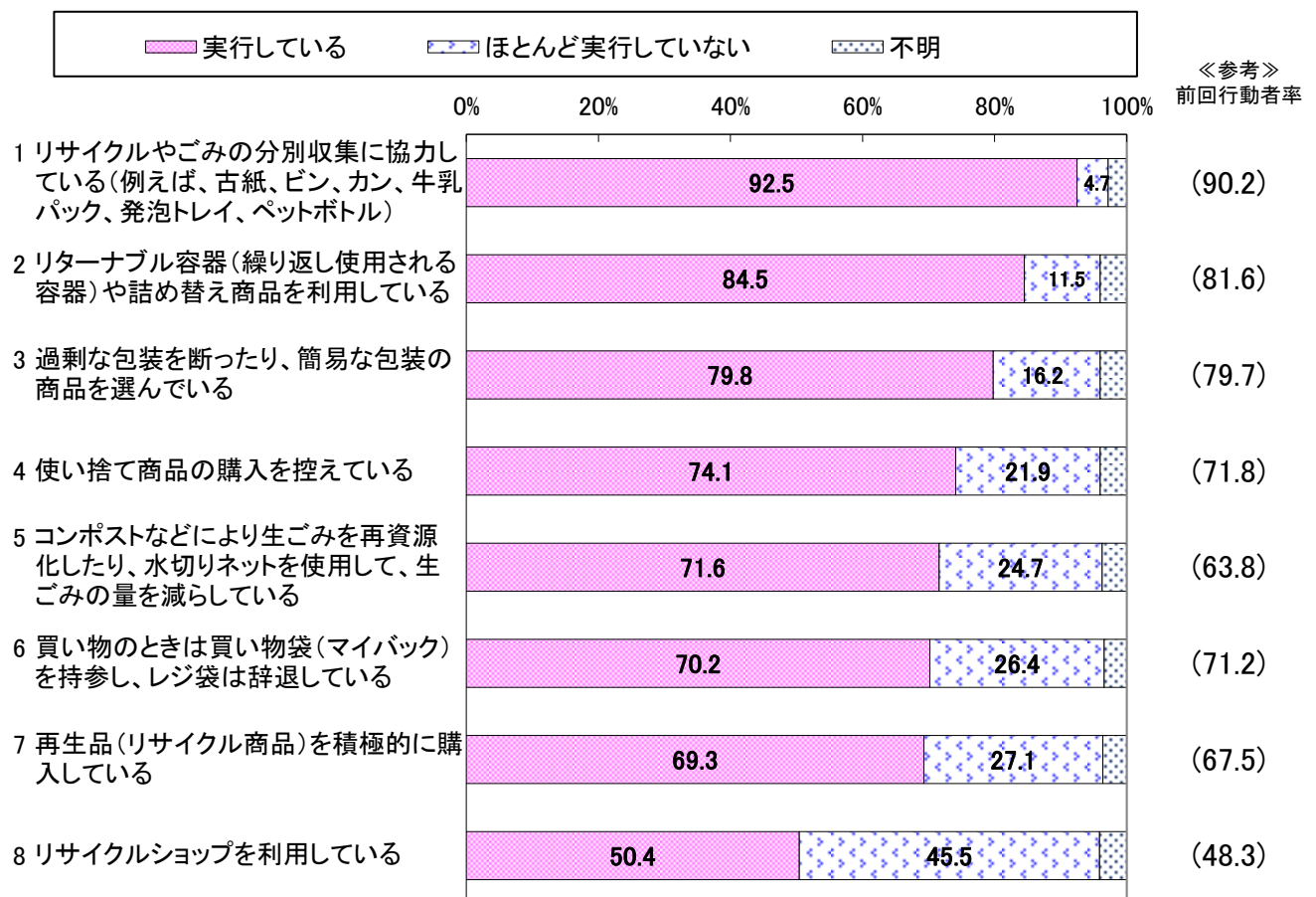


問3-6 ごみの減量化のため、普段どのような行動に努めていますか。

○ ごみの減量化などのための行動に努めている人の割合は、各調査項目の平均で74.0%となっている。



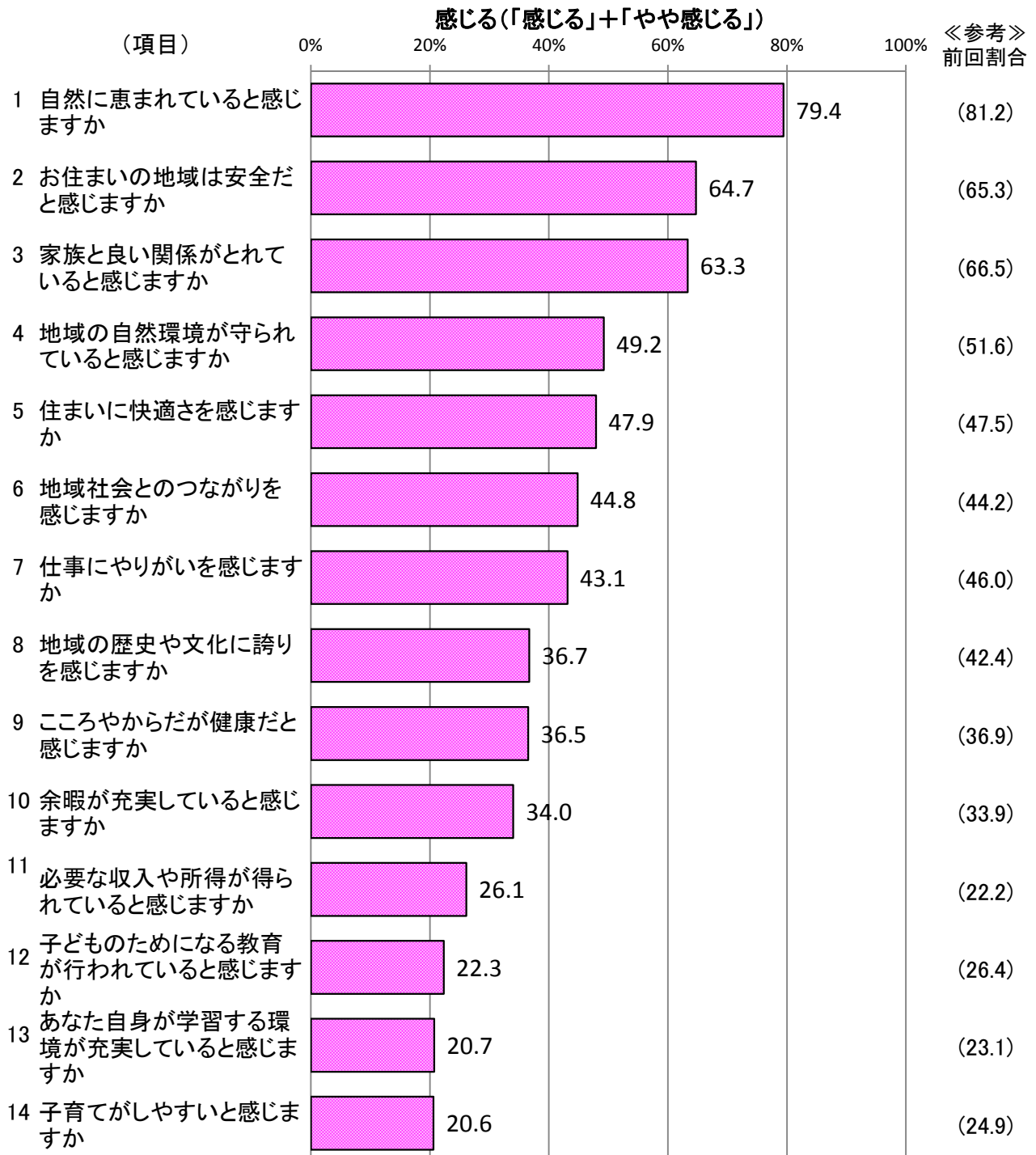
○ 行動の内容は、「リサイクルやごみの分別収集に協力している(例えば、古紙、ビン、カン、牛乳パック、発泡トレイ、ペットボトル)」が92.5%と最も多く、次いで「リターナブル容器(繰り返し使用される容器)や詰め替え商品を利用している」が84.5%、「過剰な包装を断ったり、簡易な包装の商品を選んでいる」が79.8%となっている。



問4 県では、“私たちが実現していきたい岩手の未来”を創っていくため、「希望郷いわて」の実現に向けてさまざまな取組を推進しています。希望郷いわての実現のため、あなたの「幸福」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

問4-1 現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

○「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「自然に恵まれていると感じますか」の79.4%、「お住まいの地域は安全だと感じますか」の64.7%、「家族と良い関係がとれていると感じますか」の63.3%となっている。

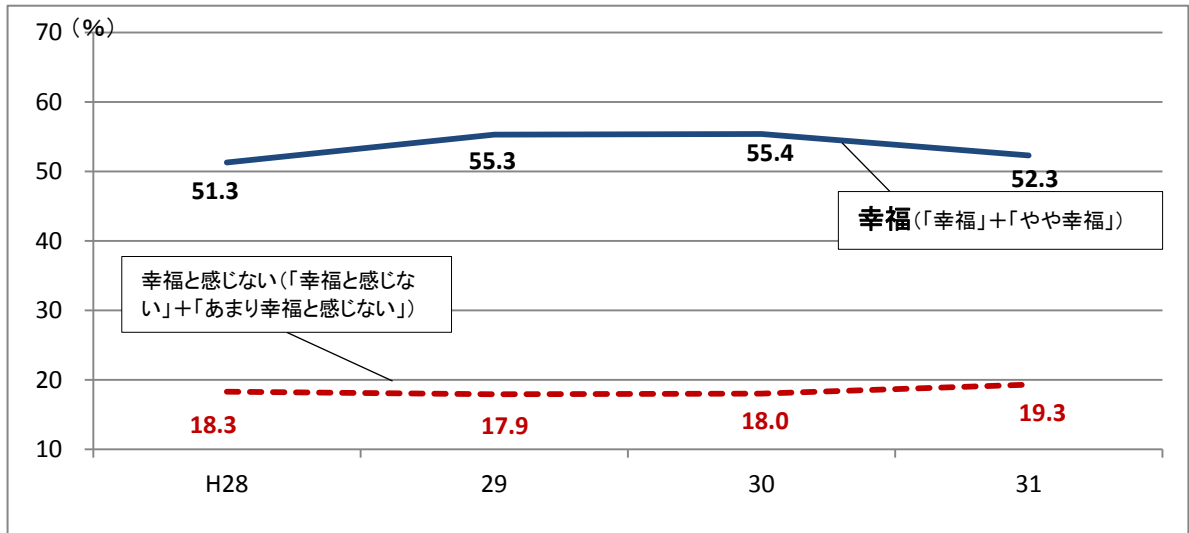


問4-2 あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。

幸福が約52% (52.3%)、県央及び沿岸広域振興圏で50%以上

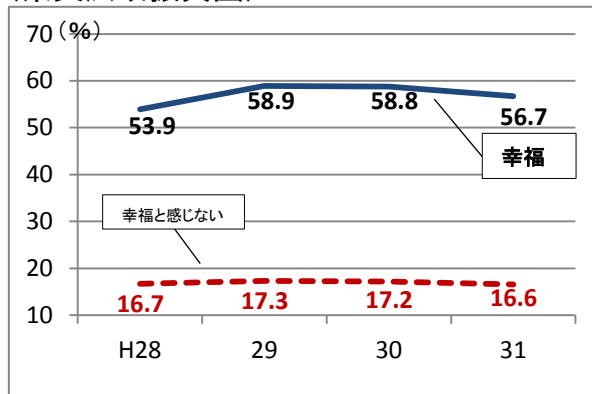
- 県計では、幸福の割合は52.3%となっており、前回と比較すると3.1ポイント低下している。
- 広域振興圏別に前回と比較すると、幸福の割合は県央では2.1ポイント、県南では5.6ポイント、沿岸では1.1ポイント、県北では0.1ポイント低下し、県央及び沿岸で幸福が50%を上回っている。

(県計)

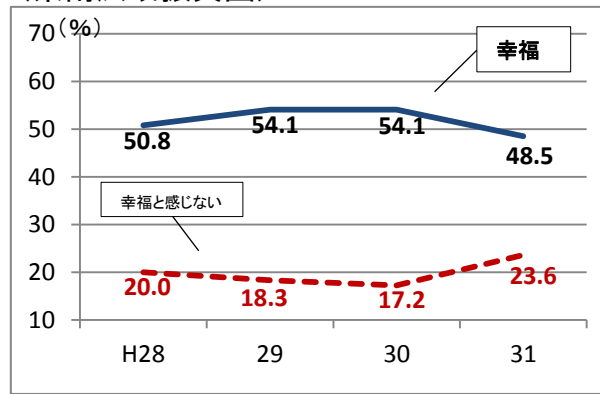


注)平成29年調査から、抽出に使用する選挙人名簿登録年齢に合わせ、調査対象年齢を20歳以上から18歳以上に引き下げた。

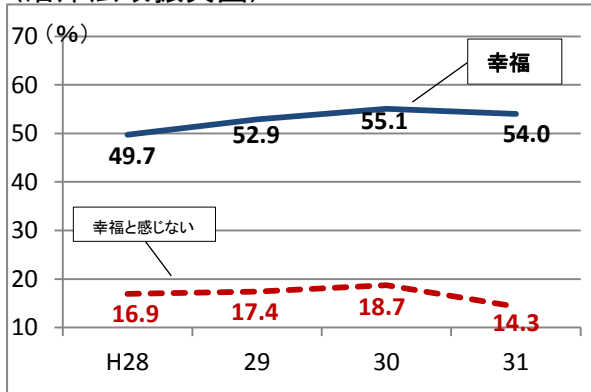
(県央広域振興圏)



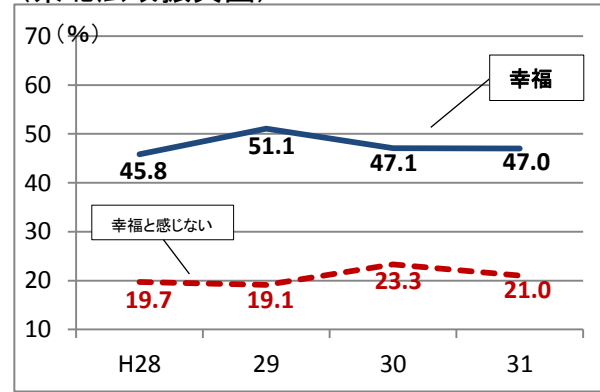
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)

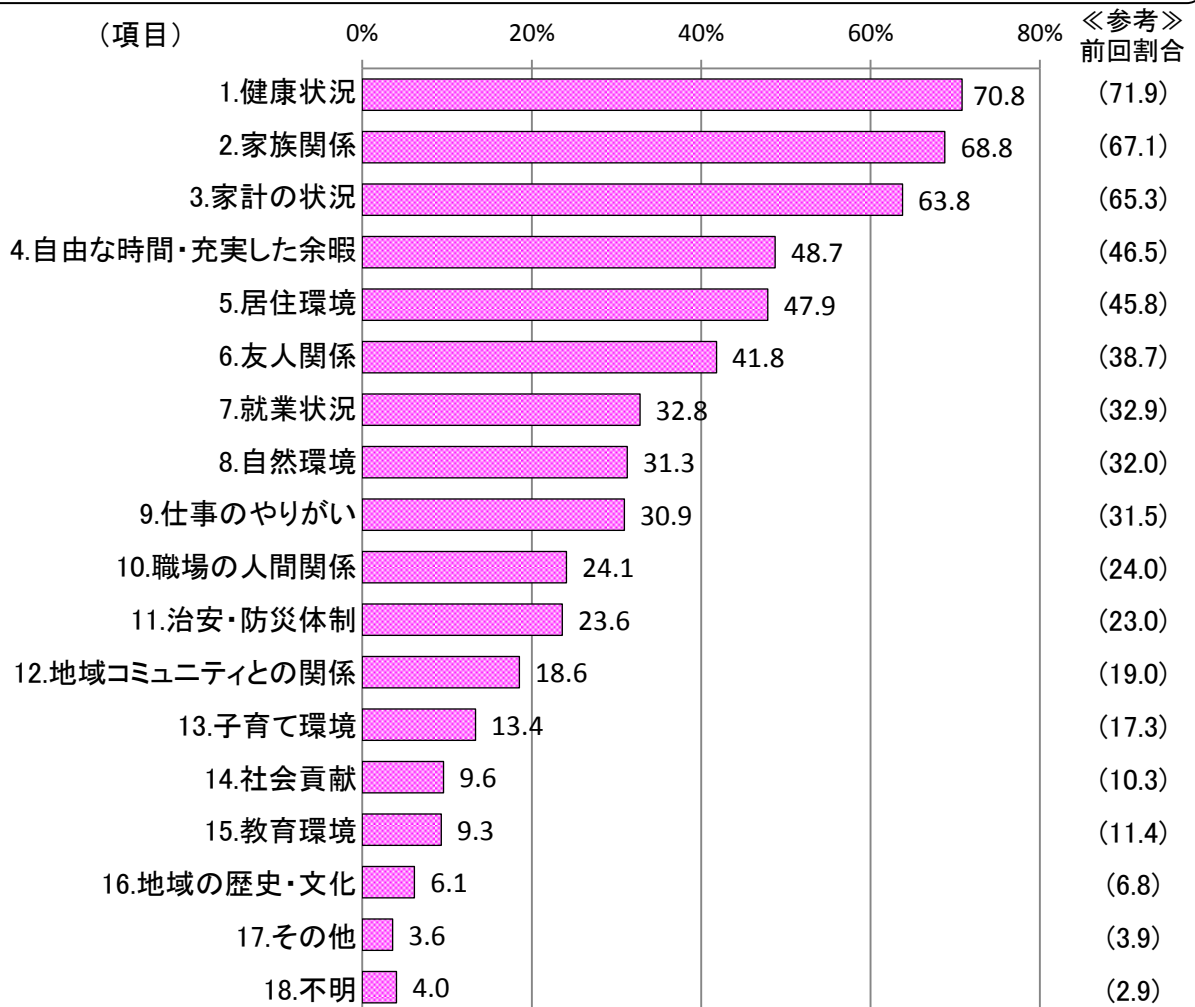


(県北広域振興圏)



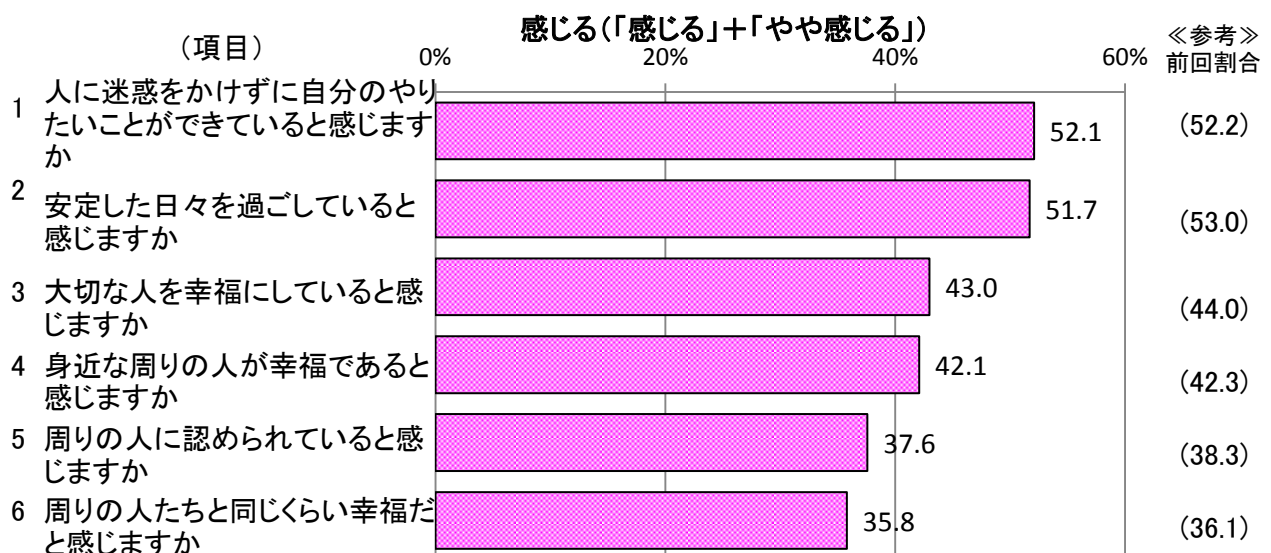
問4-3 あなたが幸福かどうか判断する際に重視した事項は何ですか。

○ 幸福かどうか判断する際に重視すると回答した人の割合が高いのは、「健康状況」の70.8%、「家族関係」の68.8%となっている。



問4-4 身近な周りの人の幸福等について、あなたの実感をおたずねします。

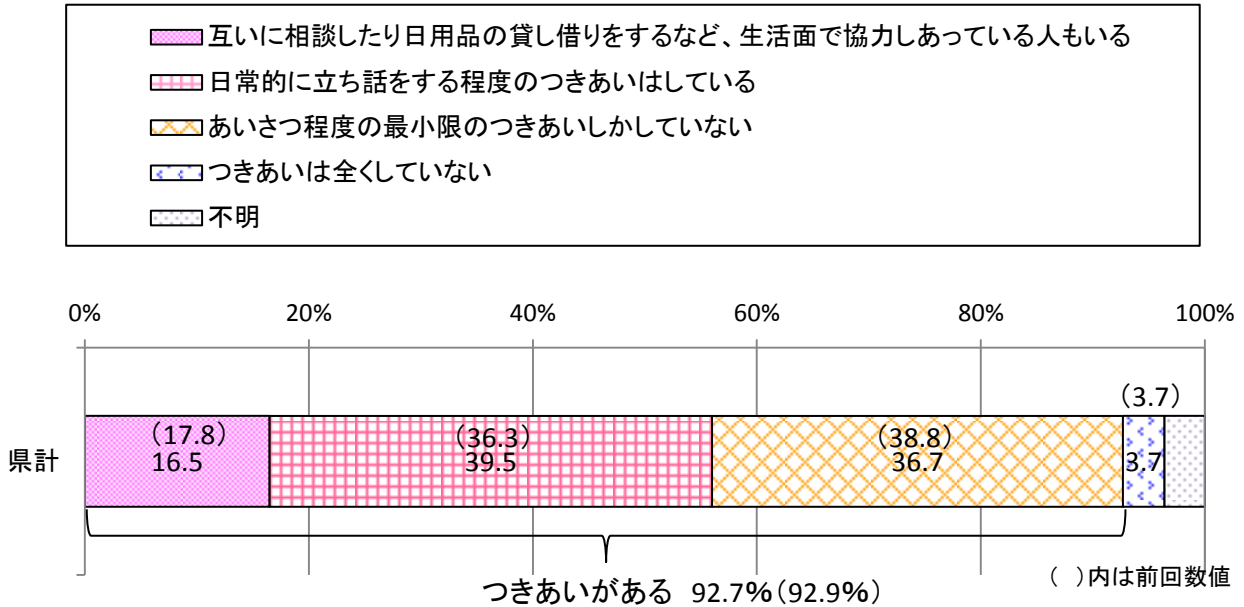
○ 「感じる」(「感じる」+「やや感じる」)の割合が高いのは、「人に迷惑をかけずに自分のやりたいことができていると感じますか」の52.1%、「安定した日々を過ごしていると感じますか」の51.7%となっている。



問5 県では、幸福に関連する項目として、「つきあい・交流」、「信頼」、「社会参加」といった「つながり」に注目しており、ここからはあなたの「つながり」に関する行動や考え方等についてお伺いします。

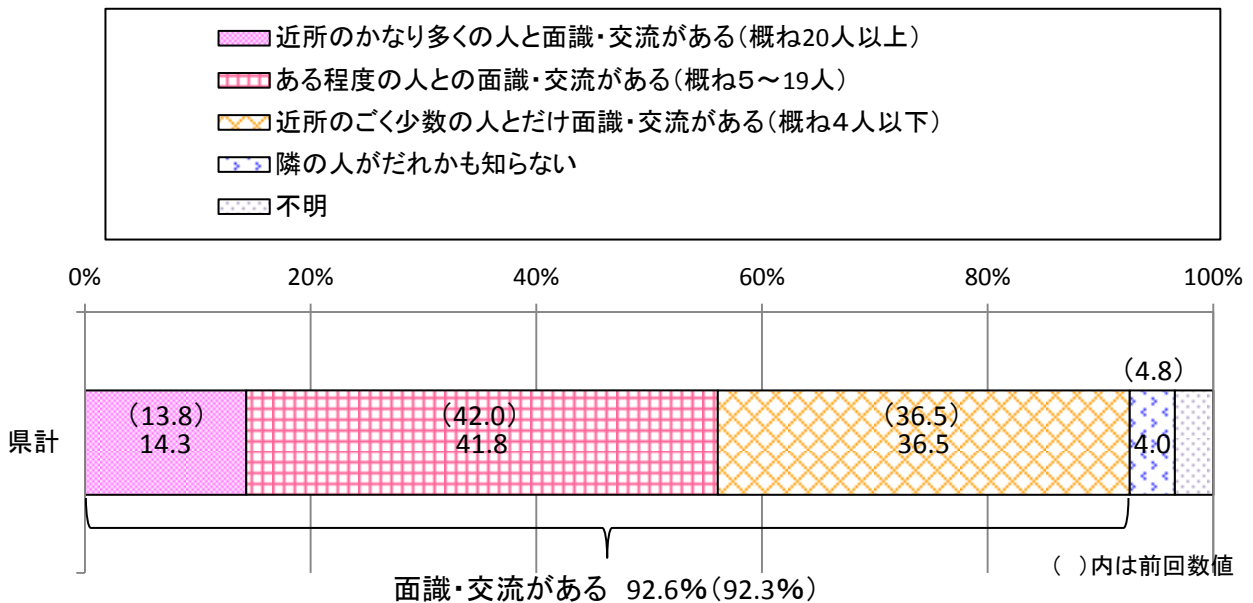
問5-1 あなたは、ご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。

- ご近所つきあいがある（「生活面での協力」、「立ち話程度のつきあい」、「あいさつ程度のつきあい」）と回答した人の割合は、92.7%となっている。
- 一方、「つきあいは全くしていない」は3.7%となっている。



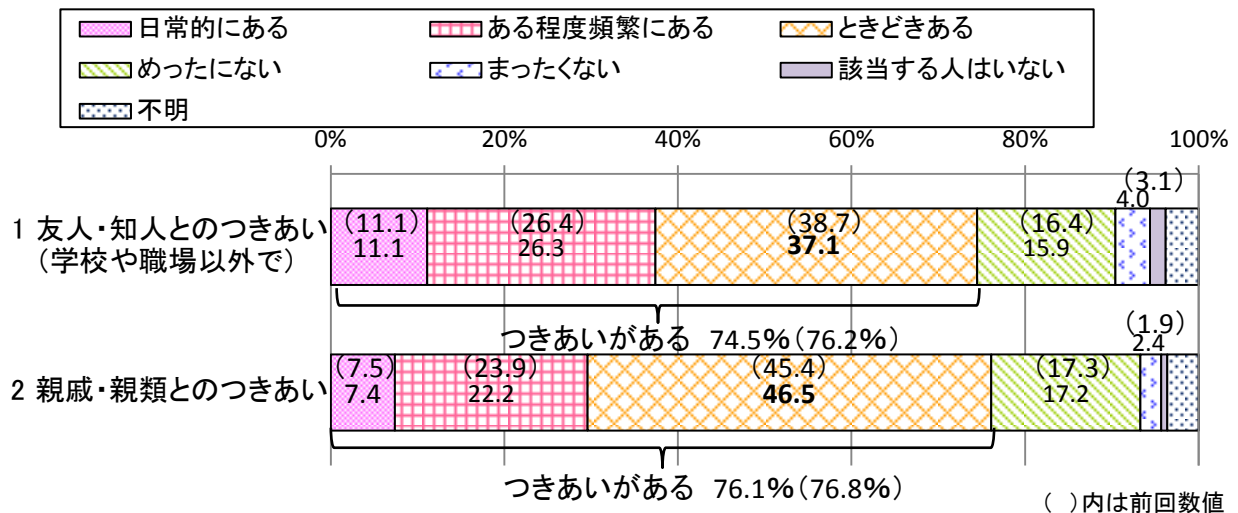
問5-2 つきあっているご近所の方の数は、どのくらいですか。

- 面識・交流がある（「近所のかかなり多くの人」、「ある程度の人」、「近所のごく少数の人とだけ」）と回答した人の割合は、92.6%となっている。
- 一方、「隣の人がだれかも知らない」は4.0%となっている。



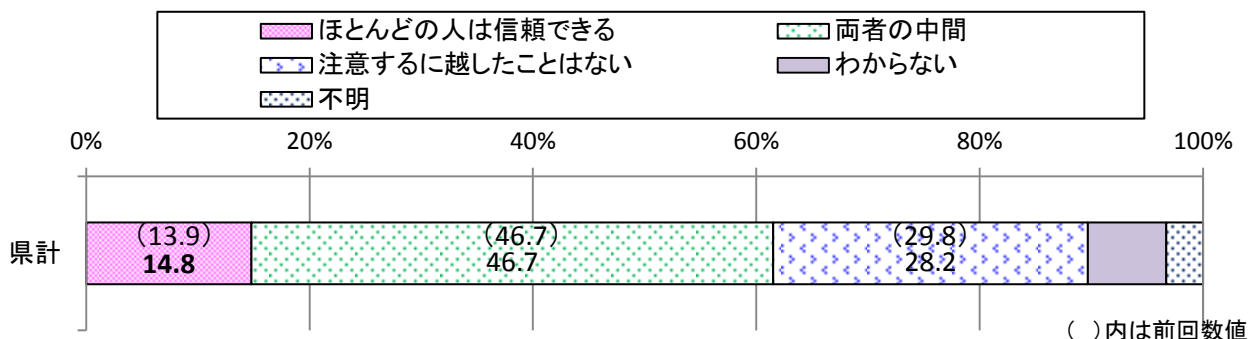
問5-3 あなたは、①友人・知人、②親戚・親類とどのようなおつきあいをされていますか。

- 友人・知人等とのつきあいがある(「日常的にある」、「ある程度頻繁にある」、「ときどきある」と回答した人の割合は、「友人・知人」では74.5%、「親戚・親類」では76.1%となっている。
- 最も割合の高いつきあいの程度は、「友人・知人」では「ときどきある」の37.1%、「親戚・親類」では「ときどきある」の46.5%となっている。



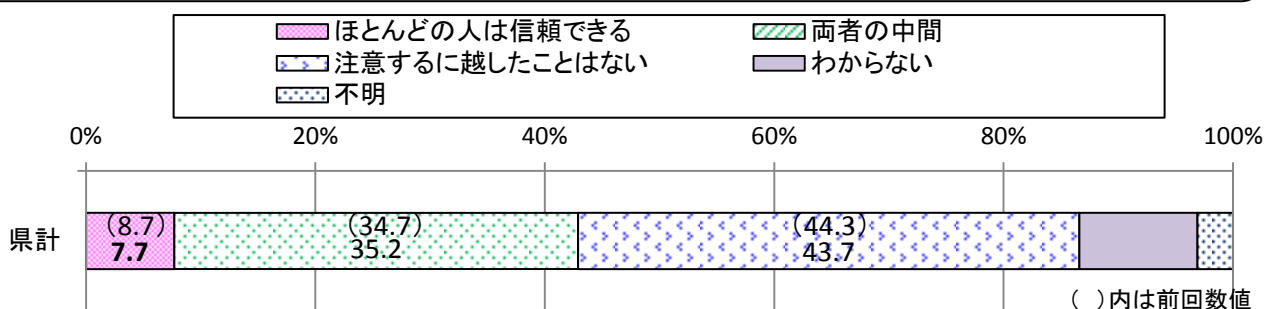
問5-4 あなたは、一般的に人は信頼できると思いますか。

- 一般的に、「ほとんどの人は信頼できる」と考える人の割合は、14.8%となっており、「注意するに越したことはない」と考える人の割合28.2%を13.4ポイント下回っている。



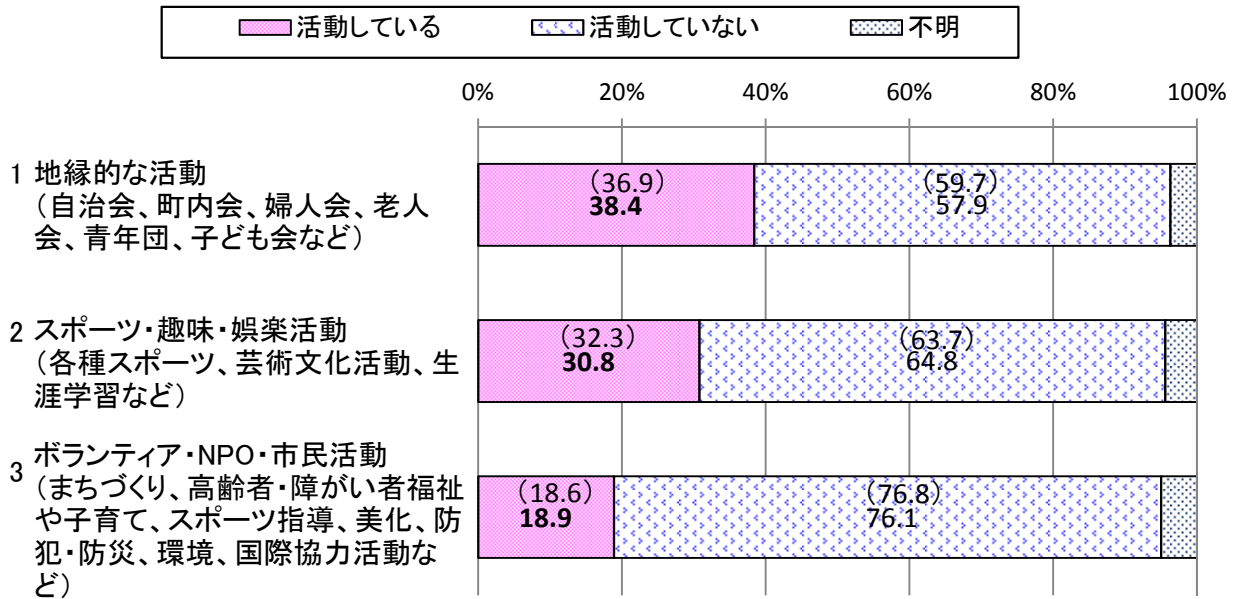
問5-5 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対して、信頼できると思いますか。

- 「旅先」や「見知らぬ土地」で出会う人に対して、「ほとんどの人は信頼できる」と考える人の割合は、7.7%となっており、「注意するに越したことはない」と考える人の割合43.7%を36.0ポイント下回っている。



問5-6 あなたは現在、①地縁的な活動、②スポーツ・趣味・娯楽活動、③ボランティア・NPO・市民活動をされていますか。

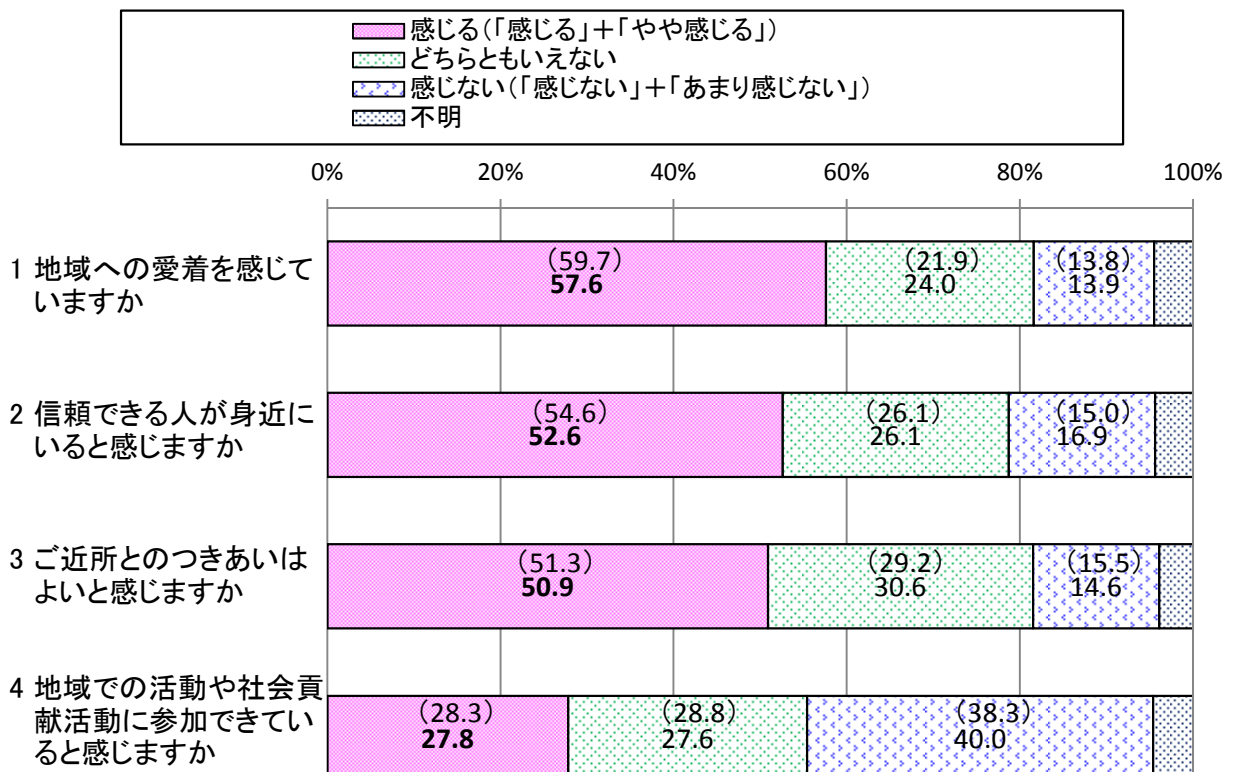
○ 地縁的な活動をしている人は38.4%、スポーツ・趣味・娯楽活動をしている人は30.8%、ボランティア・NPO・市民活動をしている人は18.9%となっている。



()内は前回数値

問5-7 あなたのお住まいの地域(小・中学校区から市町村の範囲)に対する実感をおたずねします。

○ 地域への実感は、割合の高い順に、「地域への愛着を感じていますか」は57.6%、「信頼できる人が身近にいますか」は52.6%、「ご近所とのつきあいはよいと感じますか」は50.9%、「地域での活動や社会貢献活動に参加できていると感じますか」は27.8%となっている。



()内は前回数値

(参考1)問2の各調査項目一覧(重要度、満足度、ニーズ度得点)

7つの政策	No.	項目	重要度	満足度	ニーズ度
①産業・雇用～「産業創造県いわて」の実現～	1	県内経済の活性化	4.006	2.638	1.368
	2	次世代を担う産業人材育成	4.254	2.448	1.806
	3	地域資源を活用した製品開発・販売	4.107	2.857	1.250
	4	魅力ある観光地づくり	4.009	2.674	1.335
	5	商店街のにぎわい	4.204	2.275	1.929
	6	中小企業の経営力の向上	4.221	2.529	1.692
	7	海外での県産品の販路拡大	3.660	2.759	0.901
	8	安定した就職環境	4.539	2.344	2.195
②農林水産業～「食と緑の創造県いわて」の実現～	9	農林水産業の担い手確保	4.252	2.266	1.986
	10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	4.057	2.663	1.394
	11	農林水産物のブランド確立	4.164	2.795	1.369
	12	活力ある農山漁村の形成	3.962	2.591	1.371
	13	環境に配慮した農林水産業の経営	4.249	2.641	1.608
③医療・子育て・福祉～「共に生きるいわて」の実現～	14	適切な医療体制	4.805	2.824	1.981
	15	健康に関する相談・指導	4.441	3.047	1.394
	16	安心な子育て環境整備	4.656	2.611	2.046
	17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	4.691	2.591	2.100
④安全・安心～「安心して、心豊かに暮らせるいわて」の実現～	18	充実した地域防災	4.382	3.170	1.212
	19	犯罪への不安の少ない社会づくり	4.643	3.285	1.358
	20	交通事故の少ない社会づくり	4.681	3.133	1.547
	21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	4.504	2.961	1.542
	22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	4.537	3.303	1.234
	23	移住や来訪による地域活力向上	4.318	2.754	1.563
	24	市民活動へ参加しやすい社会	3.942	3.115	0.827
	25	地域全体での青少年の健全育成	4.214	3.039	1.175
	26	個性と能力を發揮できる社会の実現	4.166	2.853	1.313
	⑤教育・文化～「人材・文化芸術の宝庫いわて」の実現～	27	学校と地域との協力	4.367	3.061
28		子どもの学力向上に向けた教育	4.407	2.986	1.421
29		人間性豊かな子どもの育成	4.620	2.994	1.626
30		子どもの体力向上	4.475	3.172	1.303
31		全ての子どもが学べる環境	4.485	2.965	1.520
32		自分に適した内容や方法で学べる環境	4.254	2.910	1.344
33		大学の地域社会貢献	4.160	2.999	1.161
34		郷土愛の向上に向けた取組	4.007	3.124	0.883
35		地域や学校での文化芸術活動	3.957	3.272	0.685
36		外国人も暮らしやすい地域社会	3.770	2.904	0.866
37		県出身スポーツ選手の活躍	4.091	3.594	0.498
⑥環境～「環境王国いわて」の実現～	38	地域での温暖化防止の取組	4.391	2.902	1.489
	39	ごみ減量やリサイクルの定着	4.483	3.395	1.088
	40	自然環境を大切に生活	4.522	3.213	1.309
⑦社会資本・公共交通・情報基盤～「いわてを支える基盤」の実現～	41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	4.423	3.181	1.242
	42	災害に強く安心して暮らせる県土	4.615	2.970	1.645
	43	生活基盤整備が進んだ生活環境	4.489	2.782	1.708
	44	社会資本の維持管理	4.356	2.899	1.458
	45	公共交通機関の維持・確保	4.429	2.653	1.776
	46	通信ネットワークの活用	4.117	3.181	0.936
⑧いわて県民計画(2019～2028)での追加項目	47	仕事と生活を両立できる環境	4.535	2.863	1.672
	48	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	4.095	3.101	0.993
	49	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	3.937	3.158	0.779
	50	感染症に対する備えが整っている社会	4.504	3.056	1.448
平均			4.303	2.910	1.393

注1)重要度(平均)、満足度(平均)は、時系列で平均の差を検定していくため、標本平均を採用しています。

注2)⑧の項目は本ページとP17～18にのみ掲載していて、他ページの表、グラフ等には含めていません。

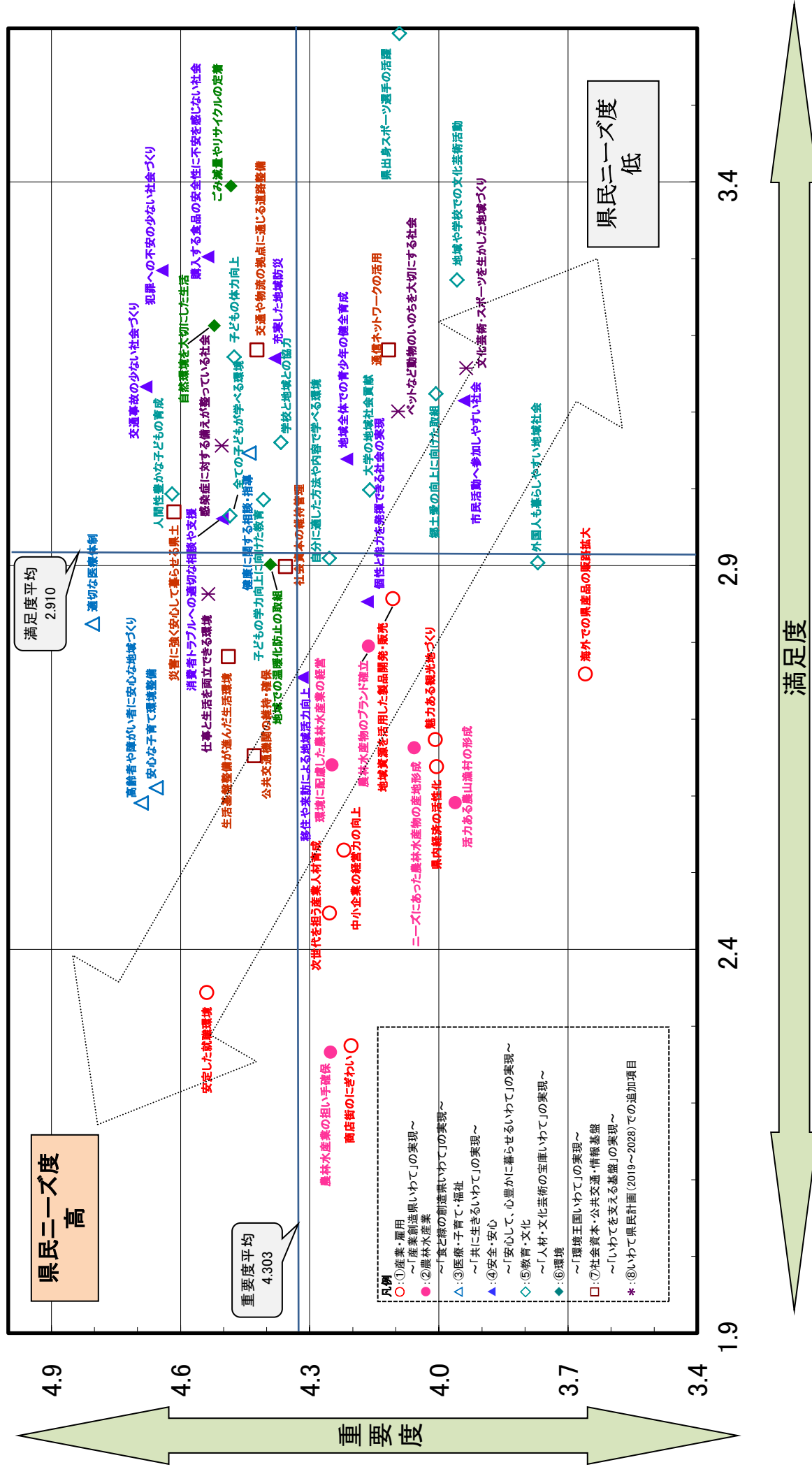
【用語の説明】

重要度(平均)： 「重要」を5点、「やや重要」を4点、「どちらともいえない」を3点、「あまり重要でない」を2点、「重要でない」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

満足度(平均)： 「満足」を5点、「やや満足」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点とし、それぞれの選択者数を乗じた合計点を、全体の回答者数(「わからない」、「不明(無回答)」を除く。)で除し、数値化したもの。

ニーズ度： 重要度(平均)－満足度(平均)
(重要度が高く、住民の満足度が低い状態を(行政)ニーズが高いと読む)

(参考2) 問2の項目別の重要度と満足度の関係



※ ——— は各項目の平均値 (重要度: 4.303、満足度: 2.910)

(参考3)問2の各調査項目のニーズ度の高い順

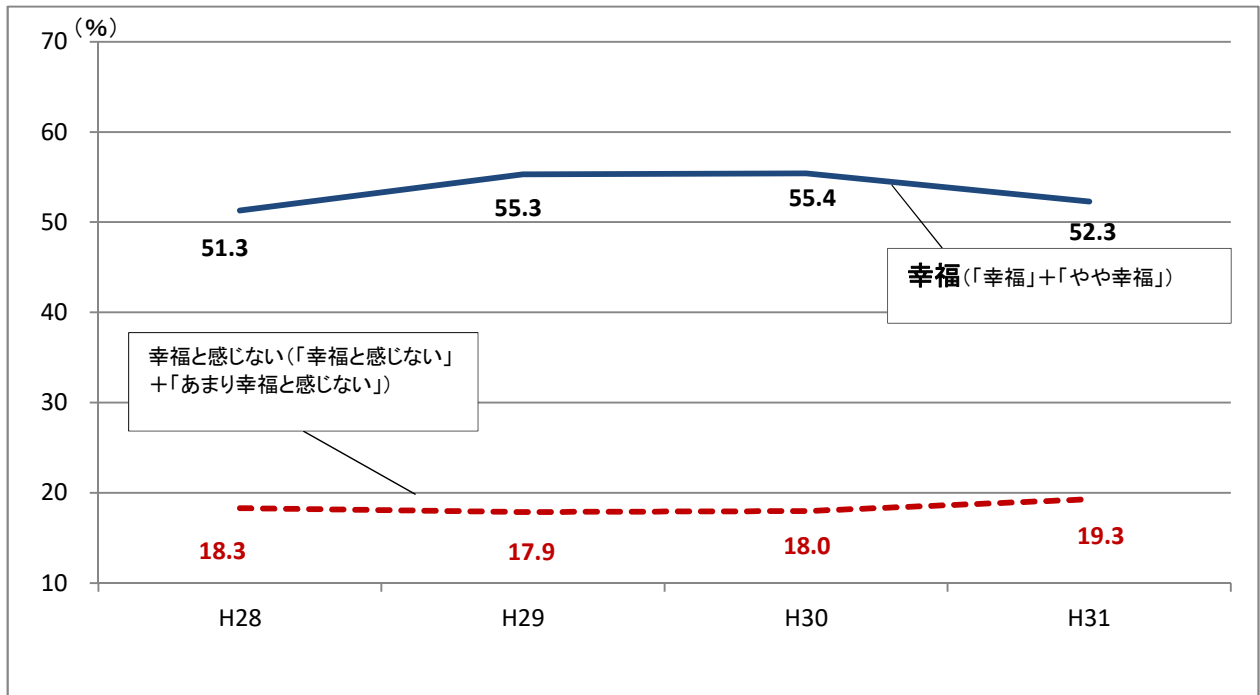
No.	項目名	ニーズ度(=重要度-満足度)		(参考) 上段:重要度 下段:満足度				
		1	2	0	1	2	3	4
8	安定した就職環境	2.195	2.344	4.539				
17	高齢者や障がい者に安心な地域づくり	2.100	2.591	4.691				
16	安心な子育て環境整備	2.046	2.611	4.656				
9	農林水産業の担い手確保	1.986	2.266	4.252				
14	適切な医療体制	1.981	2.824	4.805				
5	商店街のにぎわい	1.929	2.275	4.204				
2	次世代を担う産業人材育成	1.806	2.448	4.254				
45	公共交通機関の維持・確保	1.776	2.653	4.429				
43	生活基盤整備が進んだ生活環境	1.708	2.782	4.489				
6	中小企業の経営力の向上	1.692	2.529	4.221				
47	仕事と生活を両立できる環境	1.672	2.863	4.535				
42	災害に強く安心して暮らせる県土	1.645	2.970	4.615				
29	人間性豊かな子どもの育成	1.626	2.994	4.620				
13	環境に配慮した農林水産業の経営	1.608	2.641	4.249				
23	移住や来訪による地域活力向上	1.563	2.754	4.318				
20	交通事故の少ない社会づくり	1.547	3.133	4.681				
21	消費者トラブルへの適切な相談や支援	1.542	2.961	4.504				
31	全ての子どもが学べる環境	1.520	2.965	4.485				
38	地域での温暖化防止の取組	1.489	2.902	4.391				
44	社会資本の維持管理	1.458	2.899	4.356				
50	感染症に対する備えが整っている社会	1.448	3.056	4.504				
28	子どもの学力向上に向けた教育	1.421	2.986	4.407				
10	ニーズにあった農林水産物の産地形成	1.394	2.663	4.057				
15	健康に関する相談・指導	1.394	3.047	4.441				
12	活力ある農山漁村の形成	1.371	2.591	3.962				
11	農林水産物のブランド確立	1.369	2.795	4.164				
1	県内経済の活性化	1.368	2.638	4.006				
19	犯罪への不安の少ない社会づくり	1.358	3.285	4.643				
32	自分に適した内容や方法で学べる環境	1.344	2.910	4.254				
4	魅力ある観光地づくり	1.335	2.674	4.009				
26	個性と能力を発揮できる社会の実現	1.313	2.853	4.166				
40	自然環境を大切に生活	1.309	3.213	4.522				
27	学校と地域との協力	1.306	3.061	4.367				
30	子どもの体力向上	1.303	3.172	4.475				
3	地域資源を活用した製品開発・販売	1.250	2.857	4.107				
41	交通や物流の拠点に通じる道路整備	1.242	3.181	4.423				
22	購入する食品の安全性に不安を感じない社会	1.234	3.303	4.537				
18	充実した地域防災	1.212	3.170	4.382				
25	地域全体での青少年の健全育成	1.175	3.039	4.214				
33	大学の地域社会貢献	1.161	2.999	4.160				
39	ごみ減量やリサイクルの定着	1.088	3.395	4.483				
48	ペットなど動物のいのちを大切にする社会	0.993	3.101	4.095				
46	通信ネットワークの活用	0.936	3.181	4.117				
7	海外での県産品の販路拡大	0.901	2.759	3.660				
34	郷土愛の向上に向けた取組	0.883	3.124	4.007				
36	外国人も暮らしやすい地域社会	0.866	2.904	3.770				
24	市民活動へ参加しやすい社会	0.827	3.115	3.942				
49	文化芸術・スポーツを生かした地域づくり	0.779	3.158	3.937				
35	地域や学校での文化芸術活動	0.685	3.272	3.957				
37	県出身スポーツ選手の活躍	0.498	3.594	4.091				

県の施策に関する県民意識調査結果の時系列変化（H28～H31）

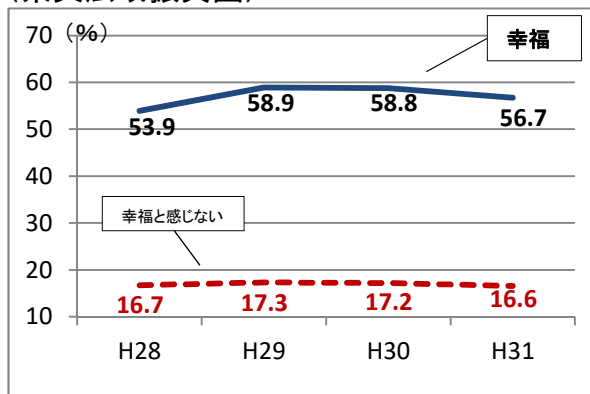
(1) 主観的幸福感

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか

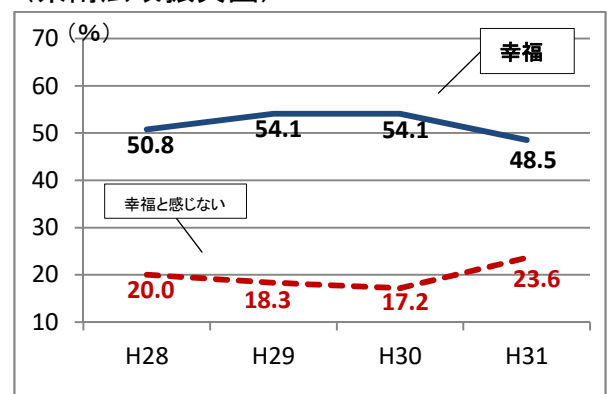
(県計)



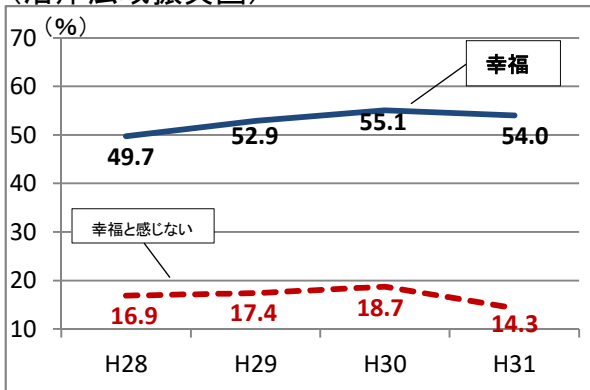
(県央広域振興圏)



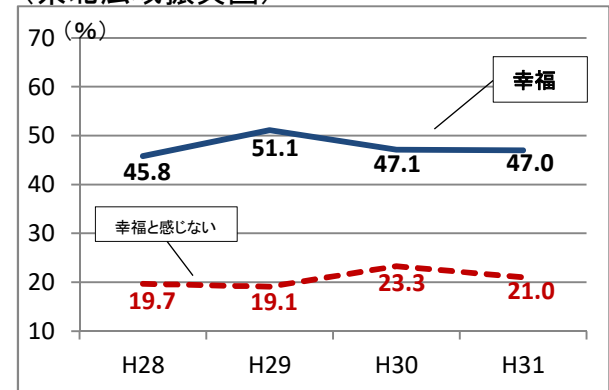
(県南広域振興圏)



(沿岸広域振興圏)



(県北広域振興圏)



(データの詳細は次ページに記載)

(主観的幸福感の詳細)

(単位:%)

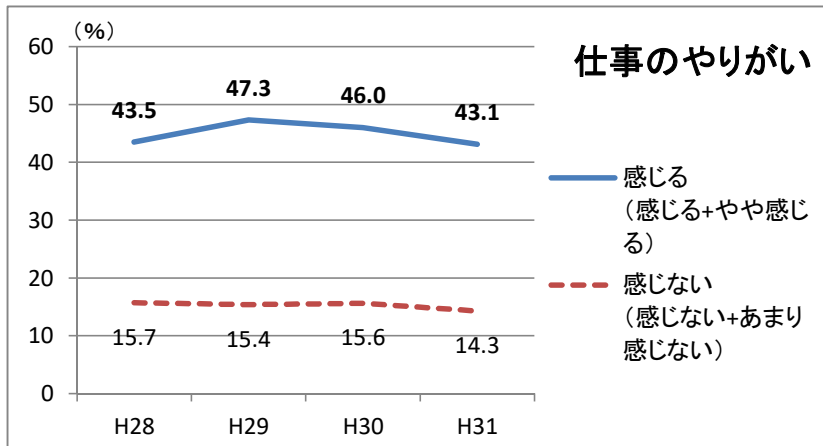
		主観的幸福感 (H28までは20歳以上。H29からは18歳以上)							幸福 (幸福+や や幸福)	幸福と感 じ ない (幸福と感 じない+あ まり幸福 と感 じない)
		幸福だと 感じている	やや幸福 だと感じ ている	どちらと もいえな い	あまり幸 福だと感 じていな い	幸福だと 感じてい ない	わからな い	不明		
県計	H28	14.1	37.2	24.3	12.8	5.5	1.9	4.2	51.3	18.3
	H29	14.8	40.5	22.5	12.8	5.1	1.5	2.8	55.3	17.9
	H30	14.0	41.4	22.4	12.8	5.2	1.7	2.5	55.4	18.0
	H31	13.6	38.7	22.4	13.2	6.1	2.4	3.6	52.3	19.3
県中央域振興圏	H28	16.4	37.5	24.7	11.7	5.0	1.6	3.1	53.9	16.7
	H29	17.0	41.9	20.1	12.9	4.4	1.3	2.4	58.9	17.3
	H30	15.7	43.1	19.7	12.1	5.1	1.5	2.8	58.8	17.2
	H31	15.4	41.3	21.0	11.7	4.9	2.3	3.4	56.7	16.6
県南広域振興圏	H28	12.9	37.9	22.9	13.5	6.5	1.6	4.7	50.8	20.0
	H29	14.3	39.8	23.6	13.3	5.0	1.6	2.4	54.1	18.3
	H30	12.9	41.2	24.6	12.3	4.9	2.0	2.1	54.1	17.2
	H31	11.6	36.9	22.6	16.3	7.3	2.4	2.9	48.5	23.6
沿岸広域振興圏	H28	13.4	36.3	26.2	13.3	3.6	2.4	4.8	49.7	16.9
	H29	12.7	40.2	23.5	11.0	6.4	2.2	4.0	52.9	17.4
	H30	14.0	41.1	22.1	12.8	5.9	1.2	2.9	55.1	18.7
	H31	14.4	39.6	23.9	8.8	5.5	2.6	5.2	54.0	14.3
県北広域振興圏	H28	11.4	34.4	25.6	13.3	6.4	3.6	5.3	45.8	19.7
	H29	11.8	39.3	25.4	13.1	6.0	0.7	3.7	51.1	19.1
	H30	11.4	35.7	24.6	17.3	6.0	2.0	3.0	47.1	23.3
	H31	13.3	33.7	24.6	13.5	7.5	2.5	4.9	47.0	21.0

(2) 領域別実感(13項目)

現在のあなたご自身のことについて、おたずねします。

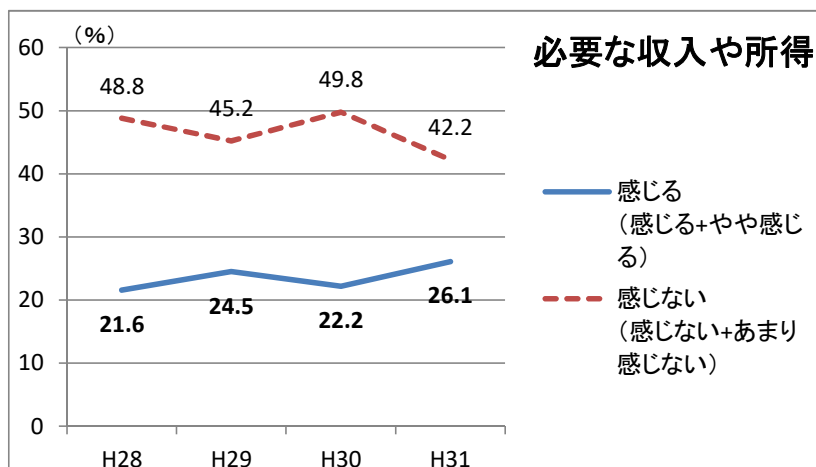
① 仕事にやりがいを感じますか。

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	17.1	26.4	19.4	9.8	5.9	14.9	6.5	43.5	15.7
H29	18.9	28.4	19.2	9.7	5.7	14.4	3.7	47.3	15.4
H30	18.2	27.8	19.8	9.7	5.9	15.3	3.3	46.0	15.6
H31	17.5	25.6	19.4	8.8	5.5	16.4	6.8	43.1	14.3



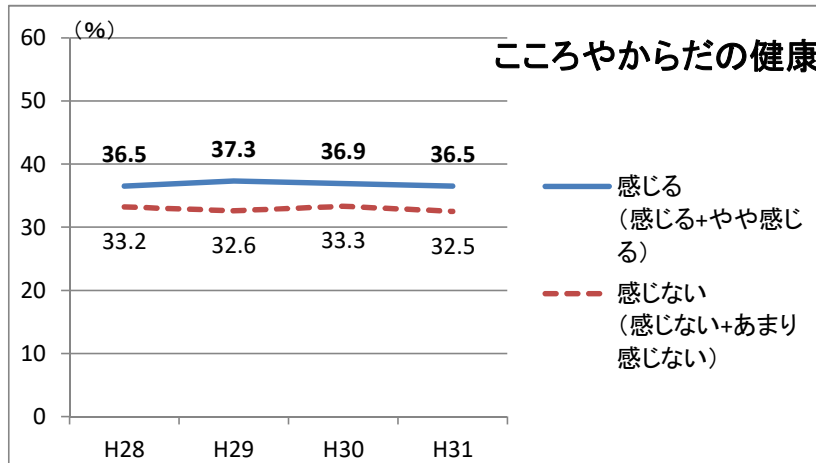
② 必要な収入や所得が得られていると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	5.8	15.8	18.1	20.6	28.2	6.0	5.5	21.6	48.8
H29	7.0	17.5	19.5	20.9	24.3	8.0	2.8	24.5	45.2
H30	5.7	16.5	18.9	22.7	27.1	6.2	2.9	22.2	49.8
H31	7.7	18.4	17.8	19.6	22.6	8.8	5.1	26.1	42.2



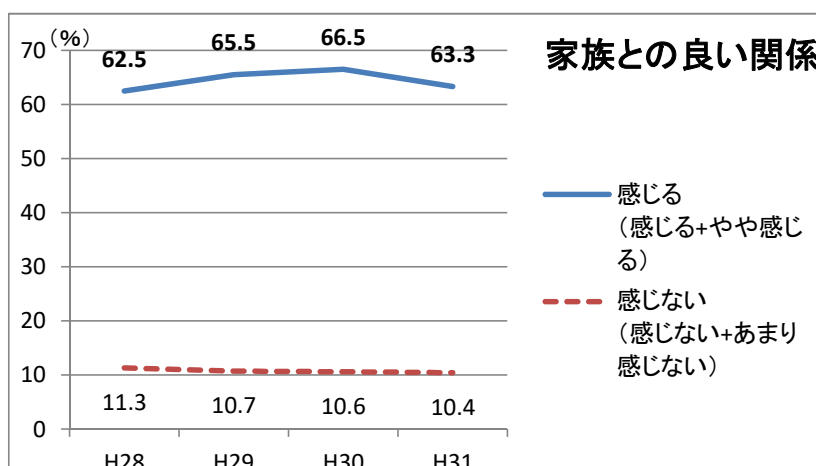
③ ころよからだが健康だと感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	11.3	25.2	23.5	19.4	13.8	1.3	5.5	36.5	33.2
H29	11.1	26.2	26.6	19.4	13.2	1.3	2.2	37.3	32.6
H30	10.5	26.4	25.8	19.1	14.2	1.7	2.3	36.9	33.3
H31	10.6	25.9	25.5	18.7	13.8	2.0	3.5	36.5	32.5



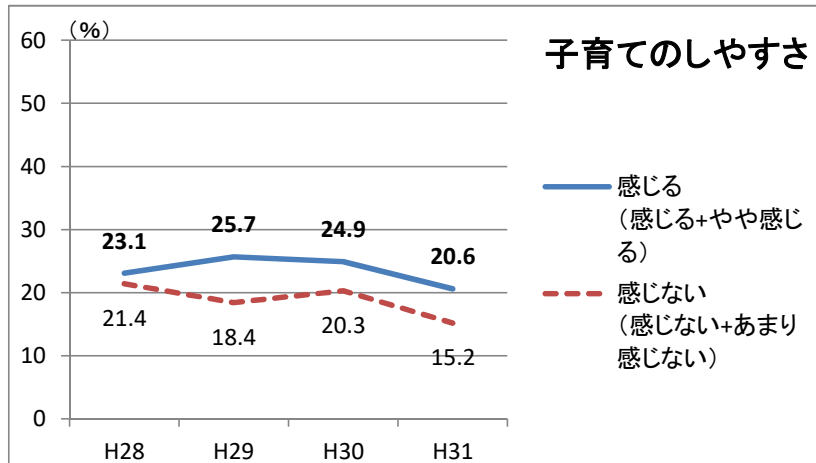
④ 家族と良い関係がとれていると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	30.3	32.2	18.2	6.7	4.6	2.4	5.6	62.5	11.3
H29	29.8	35.7	19.9	6.6	4.1	2.0	1.9	65.5	10.7
H30	32.8	33.7	18.2	6.3	4.3	2.6	2.1	66.5	10.6
H31	29.6	33.7	19.4	5.9	4.5	3.3	3.6	63.3	10.4



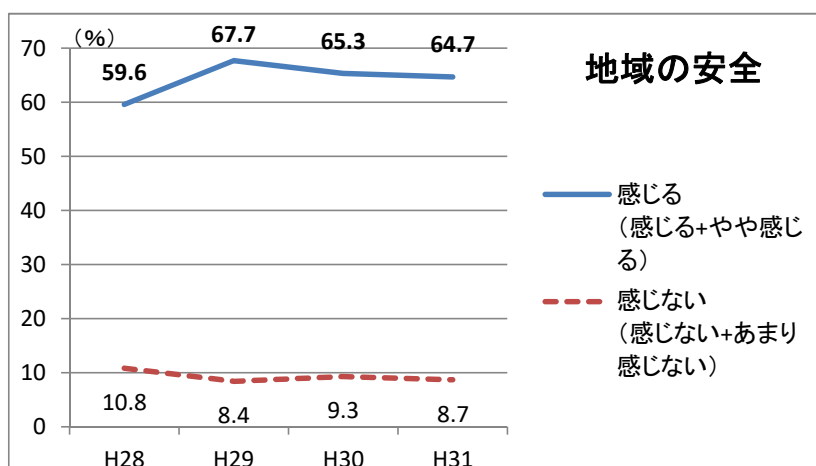
⑤ 子育てがしやすいと感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	6.5	16.6	27.3	13.2	8.2	21.2	7.0	23.1	21.4
H29	6.5	19.2	29.0	11.4	7.0	22.9	4.0	25.7	18.4
H30	6.5	18.4	28.6	12.5	7.8	22.2	4.0	24.9	20.3
H31	5.4	15.2	25.3	9.8	5.4	29.0	9.9	20.6	15.2



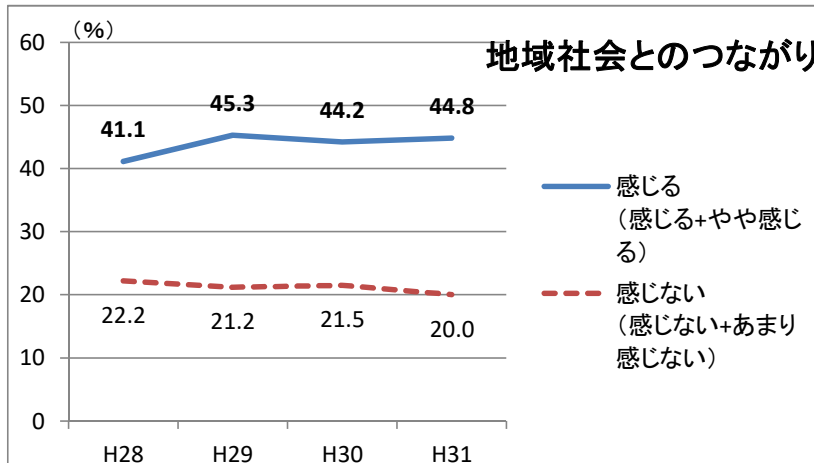
⑥ お住まいの地域は安全だと感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	21.4	38.2	22.2	6.8	4.0	2.3	5.1	59.6	10.8
H29	24.5	43.2	20.1	5.7	2.7	2.0	1.8	67.7	8.4
H30	23.7	41.6	20.4	6.3	3.0	2.9	2.1	65.3	9.3
H31	23.6	41.1	20.1	6.0	2.7	3.3	3.2	64.7	8.7



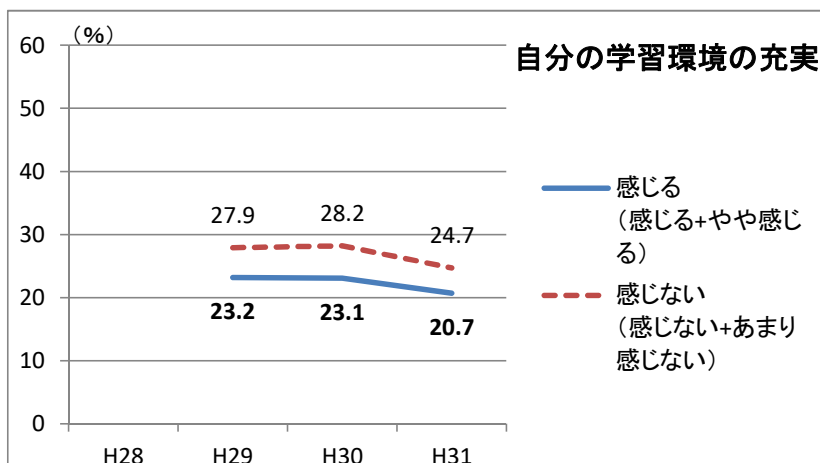
⑦ 地域社会とのつながりを感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	11.2	29.9	27.5	14.4	7.8	3.9	5.3	41.1	22.2
H29	12.5	32.8	28.1	14.7	6.5	3.5	1.9	45.3	21.2
H30	12.0	32.2	27.6	14.8	6.7	4.1	2.6	44.2	21.5
H31	11.8	33.0	26.6	13.8	6.2	5.1	3.5	44.8	20.0



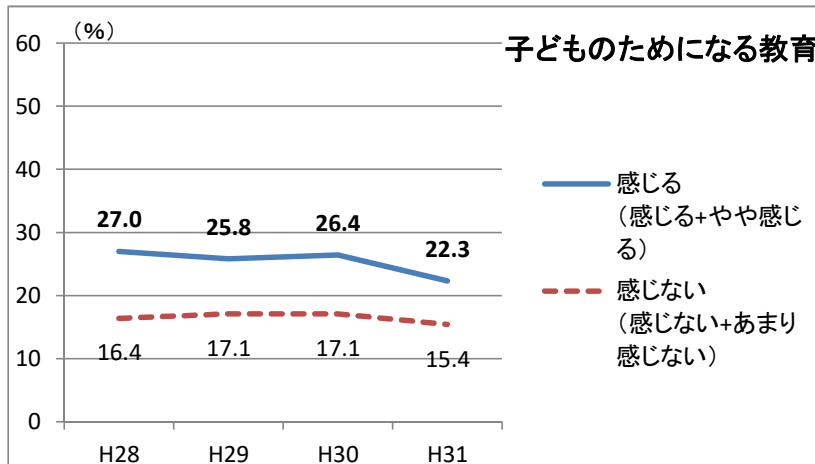
⑧ あなた自身が学習する環境が充実していると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28									
H29	5.2	18.0	34.2	19.0	8.9	12.1	2.6	23.2	27.9
H30	5.6	17.5	34.1	18.8	9.4	12.0	2.6	23.1	28.2
H31	4.6	16.1	34.3	15.5	9.2	15.4	4.9	20.7	24.7



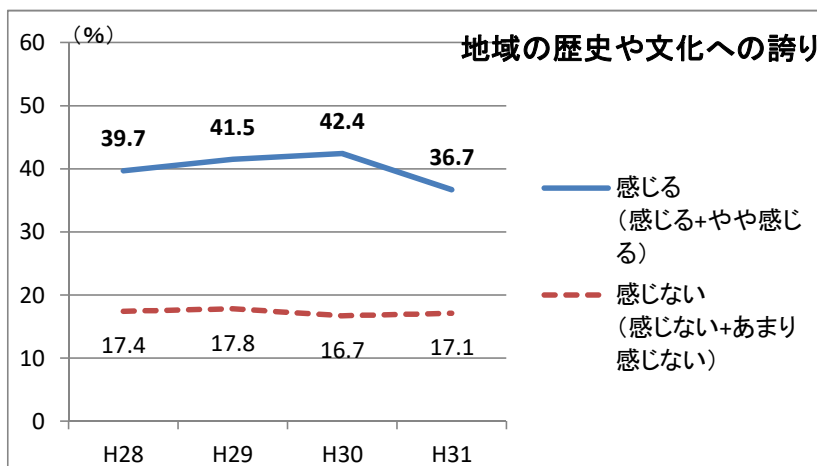
⑨ 子どものためになる教育が行われていると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	5.6	21.4	29.9	11.5	4.9	20.7	6.0	27.0	16.4
H29	4.8	21.0	32.4	12.1	5.0	21.4	3.3	25.8	17.1
H30	5.2	21.2	30.9	12.1	5.0	22.3	3.3	26.4	17.1
H31	4.2	18.1	28.5	11.0	4.4	27.6	6.2	22.3	15.4



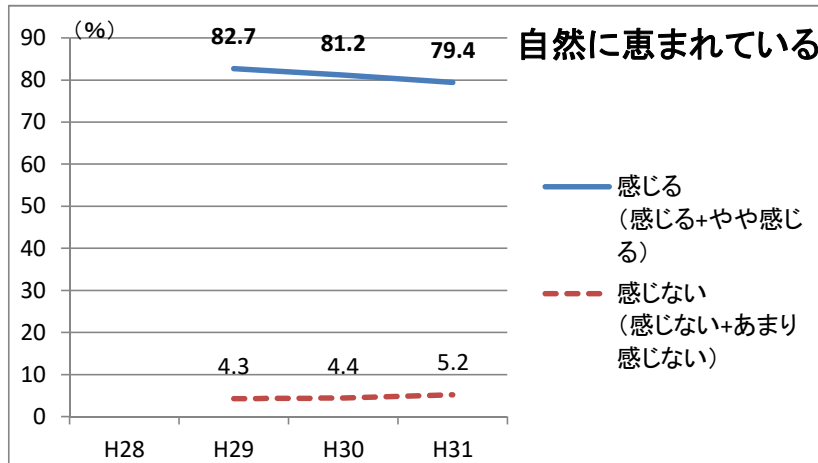
⑩ 地域の歴史や文化に誇りを感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	12.6	27.1	28.7	11.7	5.7	8.8	5.4	39.7	17.4
H29	11.8	29.7	30.2	12.1	5.7	7.9	2.6	41.5	17.8
H30	14.2	28.2	29.2	10.8	5.9	9.0	2.7	42.4	16.7
H31	9.8	26.9	30.8	11.8	5.3	11.3	4.1	36.7	17.1



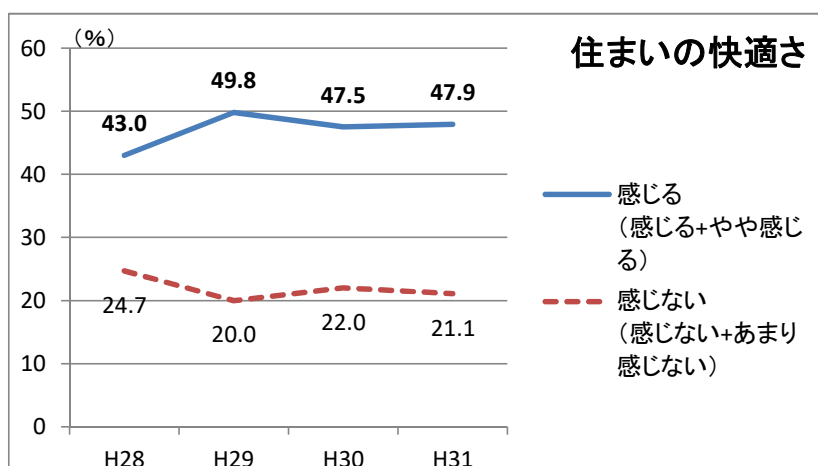
⑪ 自然に恵まれていると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28									
H29	43.9	38.8	9.4	2.9	1.4	1.5	2.1	82.7	4.3
H30	46.4	34.8	10.4	2.7	1.7	1.9	2.1	81.2	4.4
H31	39.8	39.6	9.8	3.9	1.3	2.0	3.6	79.4	5.2



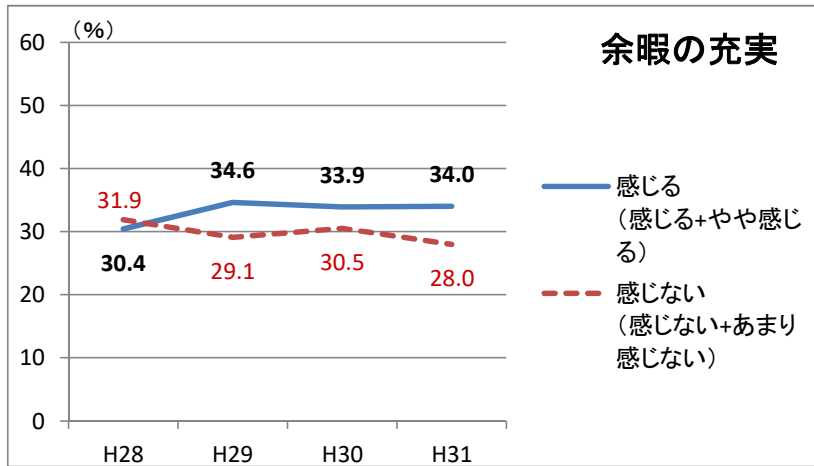
⑫ 住まいに快適さを感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	12.9	30.1	25.2	13.5	11.2	1.9	5.2	43.0	24.7
H29	15.5	34.3	26.5	12.2	7.8	1.7	2.0	49.8	20.0
H30	15.9	31.6	26.5	13.1	8.9	1.9	2.1	47.5	22.0
H31	14.5	33.4	25.9	12.7	8.4	1.9	3.2	47.9	21.1



⑬ 余暇が充実していると感じますか

県計	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない	不明	感じる (感じる+やや感じる)	感じない (感じない+あまり感じない)
H28	8.7	21.7	28.8	17.0	14.9	3.9	5.0	30.4	31.9
H29	10.1	24.5	30.9	17.1	12.0	3.4	2.0	34.6	29.1
H30	10.5	23.4	29.1	17.2	13.3	4.4	2.1	33.9	30.5
H31	10.1	23.9	30.0	16.9	11.1	4.4	3.6	34.0	28.0



「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」の実施について

1 調査目的

県民の幸福に着目して策定した「いわて県民計画（2019～2028）」を着実に推進していくため、県民の主観的な幸福感を継続して観測するとともに、その変動要因を把握し、政策立案に反映していくことが必要である。

そこで、県民意識調査で把握した主観的幸福感や幸福に関連する領域別実感（以下「主観的実感」という。）の変動要因を推測するため、調査対象者を固定して継続して調査するパネル調査を実施するもの。

2 調査時期

毎年1月（県民意識調査と同時期に実施）

3 調査対象者数

600人（各広域振興局150人）

※具体的な調査対象者は、別途検討【検討課題1】

【調査対象者数の選定方法と根拠】

(1) 対象者数の根拠

- ・ 復興の進捗に対する実感を把握するために実施している「復興ウォッチャー調査」が沿岸地域の153人を対象としていることに倣い、各広域振興局150人程度を想定。
- ・ 4年間で回収率が2/3（66％）に低下しても、各広域振興局で最低100のサンプルを確保することを想定。

(2) 対象者の選定

平成31年県民意識調査で、当パネル調査への協力の有無を調査したところ、2,099人（「協力してもよい」619人、「どちらでもよい」1,480人）が調査候補者として把握できたことから、今後、属性等を勘案しながら調査対象者を選定。

4 調査項目

県民意識調査の調査項目に加え、県民の主観的実感の変動要因を推測するための調査項目を設定

※具体的な調査項目は、別途検討【検討課題2】

5 調査スケジュール

	調査票検討	調査業務
7月3日	第1回部会：方針検討	
～	（調査票案検討）	
9月4日	第2回部会： 調査票検討、調査対象者検討	（調査票ページ数決定） （調査意向確認対象者決定）
9月中		業者公募、決定
10月中	第3回部会： 調査票決定、調査対象者決定	調査対象候補者への 意向確認
11月～12月		調査票印刷
1月		調査実施

【検討課題 1】

「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」調査対象者について

1 選定の手順

(1) 調査対象候補者の意向確認[10月頃]

平成 31 年 1 月に実施した県民意識調査で、当調査に協力いただける候補者を把握していることから、10 月を目途に、改めて調査協力への意向を確認する。

- ・ 調査対象候補者 2,099 人（協力しても良い 619 人、どちらでもよい 1,480 人）
- ・ 意向確認対象者 1,500 人（各広域振興局 375 人×4）

(2) 調査対象者の決定[第 3 回部会]

(1) で把握した候補者から、調査対象者 600 人（各広域振興圏 150 人×4）を決定する。

2 意向確認対象者の選定方針

以下の選定方針に基づき、広域振興圏別に選定する。

(1) 広域振興圏ごとに均等に選定

県北広域振興圏は 361 人全員を選定、それ以外の振興圏は 380 人を選定する。

(2) 平成 27 年国勢調査結果の属性比率を考慮して選定

幅広い属性を候補者とするよう、平成 27 年国勢調査結果の性別、年齢、職業、世帯構成の比率を考慮しながら選定する。

(3) 「協力してもよい」との回答者は優先して選定

回収率の低下を軽減するため、「協力してもよい」と回答した方を優先的に選定する。

(地域別の調査対象候補者)

地域	合計 (a + b)	協力しても よい(a)	どちらでも よい(b)
県央広域振興圏	608	175	433
県南広域振興圏	632	198	434
沿岸広域振興圏	498	140	358
県北広域振興圏	361	106	255
合計	2,099	619	1,480

【検討課題 2】

「県民の幸福感に関するパネル調査（仮称）」調査設計について

1 基本方針

(1) 実施初年度から成果が得られること

パネル調査で得られた領域別実感の変動要因は、毎年の政策評価に活用することから、実施初年度から成果が得られる調査設計とする。

(2) 12 領域別実感全ての変動要因を把握できること

政策評価では、全ての領域別実感の実績値を活用することから、12 領域全ての変動要因を毎年把握できる調査設計とする。

(3) 主な設問は県民意識調査と同じ調査設計とすること

県民意識調査を補足する調査として実施するものであることから、県民意識調査の主な設問（生活満足度、施策満足度・重要度、主観的幸福感、領域別実感等）は、パネル調査でも把握する。

2 検討の方向性

(1) 把握する属性の追加

属性の変化から領域別実感の変動要因を推測できるよう、把握する属性を追加する。

（参考）県民意識調査で把握している属性

性別、年齢、職業、世帯構成、子の数、居住年数、居住地域

(2) 変動要因を推測できる設問の追加

初年度から領域別実感全ての変動要因を把握できるよう、領域別実感の変動要因を推測できる設問を追加する。

(3) 調査負担に配慮した設問数、設問項目

長期間継続して調査協力いただけるよう、調査負担に配慮した設問数、設問項目とする。

3 調査設計案 ※詳細は別紙「追加設問イメージ」

(1) 属性の追加

①所得関連項目の追加

県民意識調査で把握している属性に加え、領域別実感に影響を与えると思われる「所得」を追加してはいかがか。

②イベント、行動の追加

領域別実感に影響を与えると思われるイベントや生活時間（行動）を追加してはいかがか。

ア 生活時間の例：通勤・通学、仕事・学業、家事、介護、育児等

イ 本人イベントの例：結婚、離婚、子・孫の誕生、親族との死別、失業、ケガ・病気、犯罪被害等

ウ 家族イベントの例：上記と同

(2) 変動要因を推測できる設問の追加

① 12 領域別実感の変動要因把握

政策評価に反映する領域別実感の変動要因は、量的な把握が可能で分析が比較的容易となる、選択回答方式の設問で把握してはいかかがか。

② 主観的幸福感の変動要因把握

主観的幸福感の変動要因は、12 領域別実感の分析結果から解釈することとしてはいかかがか。

【参考】県民意識調査で把握している主観的幸福感と領域別実感

(1) 主観的幸福感（5段階評価）

あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか

(2) 領域別実感（5段階評価）

領域	把握する内容	設問
仕事	仕事のやりがい	仕事にやりがいを感じますか
収入	必要な収入や所得	必要な収入や所得が得られていると感じますか
居住環境	住まいの快適さ	住まいに快適さを感じますか
安全	地域の安全	お住まいの地域は安全だと感じますか
余暇	余暇の充実	余暇が充実していると感じますか
健康	心身の健康	こころやからだは健康だと感じますか
子育て	子育て	子育てがしやすいと感じますか
教育	子どもの教育	子どものためになる教育が行われていると感じますか
	自身の学習	あなた自身が学習する環境が充実していると感じますか
家族	家族関係	家族と良い関係がとれていると感じますか
コミュニティ	地域社会とのつながり	地域社会とのつながりを感じますか
歴史・文化	歴史・文化への誇り	地域の歴史や文化に誇りを感じますか
自然環境	自然のゆたかさ	自然に恵まれていると感じますか

(別紙) 追加設問イメージ

1 属性の追加

(1) 所得の追加 (例)

問 X 最後に、お答えいただいた「あなた」御自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、あてはまる番号に○をつけてください。

(1) 性別 [略]

(2) 年齢 [略]

(3) あなたの年間所得（年金含む。）はおよそどのくらいですか（○は1つ）。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 100万円未満 |
| 2 | 100万円以上 300万円未満 |
| 3 | 300万円以上 500万円未満 |
| 4 | 500万円以上 700万円未満 |
| 5 | 700万円以上 1,000万円未満 |
| 6 | 1,000万円以上 2,000万円未満 |
| 7 | 2,000万円以上 3,000万円未満 |
| 8 | 3,000万円以上 |

(4) 職業、業種 [略]

(5) 子の数、就学状況（同居・別居は問わない） [略]

(6) 居住年数 [略]

(2) 生活時間の追加 (例)

問 X

あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。
以下の行動の種類ごとに、あなた（調査対象者）の 1日当たり の行動の時間を記入してください（1週間の平均時間を目安にお答えください）。

（口内に数字を記入してください）

行 動 の 種 類	行 動 の 時 間				
①睡眠	約		時間		分
②身の回りの用事	約		時間		分
③食事（注1）	約		時間		分
④通勤・通学	約		時間		分
⑤仕事（収入を伴う仕事）	約		時間		分
⑥学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）	約		時間		分
⑦食事の用意・後片付け	約		時間		分
⑧掃除・洗濯	約		時間		分
⑨介護・看護	約		時間		分
⑩育児	約		時間		分
⑪買い物	約		時間		分
⑫その他（⑦～⑪以外の家事）	約		時間		分

（注1）仕事や学業の昼休みに食事をした場合、「③食事」には食事の時間だけを記入してください。食事後に休憩した時間は「③食事」には含めないでください。

（注2）行動の種類には①～⑫のほかに移動（通勤・通学を除く）、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌、休養・くつろぎ、学習・自己啓発・訓練（学業以外）、趣味・娯楽、スポーツ、ボランティア活動・社会参加活動、交際・付き合い、受診・療養といったものもあるので、①～⑫の行動の時間の合計が24時間より小さくても構いません。

(3) 本人及び家族のイベントの追加（例）

同 X-1

あなたが、この1年間で経験したと思われることについて、あてはまる番号全てに○をつけてください

- | | | |
|-------------|----------------------|--------------|
| 1 結婚 | 2 離婚 | 3 子供・孫の誕生 |
| 4 家族との死別 | 5 家族との別居 | 6 就職・転職・開業 |
| 7 失業・廃業 | 8 定年退職 | 9 住宅取得 |
| 10 引越し | 11 大きな病気、けが | 12 進学 |
| 13 学校の卒業 | 14 ハラスメントやいじめ、虐待等の被害 | |
| 15 ペットとの死別 | 16 犯罪などによる被害 | 17 自然災害による被害 |
| 18 事故・火災の被害 | 19 要介護者・障がい者としての認定 | |
| 20 その他（ | | ） |

同 X-2

同居するあなたのご家族が、この1年間で経験したと思われることについて、あてはまる番号全てに○をつけてください

- | | | |
|-------------|----------------------|--------------|
| 1 結婚 | 2 離婚 | 3 子供・孫の誕生 |
| 4 家族との死別 | 5 家族との別居 | 6 就職・転職・開業 |
| 7 失業・廃業 | 8 定年退職 | 9 住宅取得 |
| 10 引越し | 11 大きな病気、けが | 12 進学 |
| 13 学校の卒業 | 14 ハラスメントやいじめ、虐待等の被害 | |
| 15 ペットとの死別 | 16 犯罪などによる被害 | 17 自然災害による被害 |
| 18 事故・火災の被害 | 19 要介護者・障がい者としての認定 | |
| 20 その他（ | | ） |

